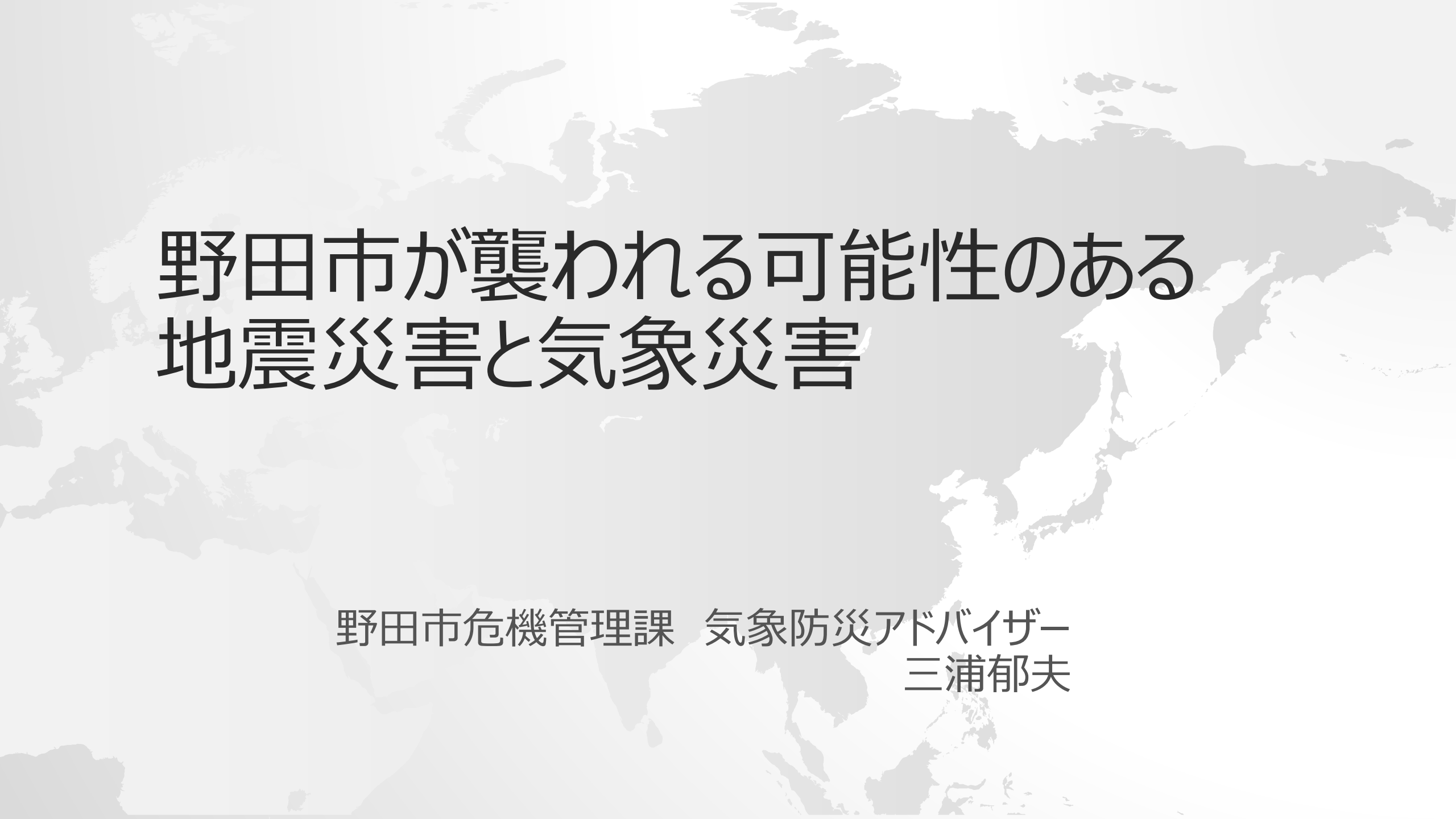


A faint, light gray map of Japan serves as the background for the slide. The map shows the main islands and surrounding waters, with a slightly textured, hand-drawn appearance.

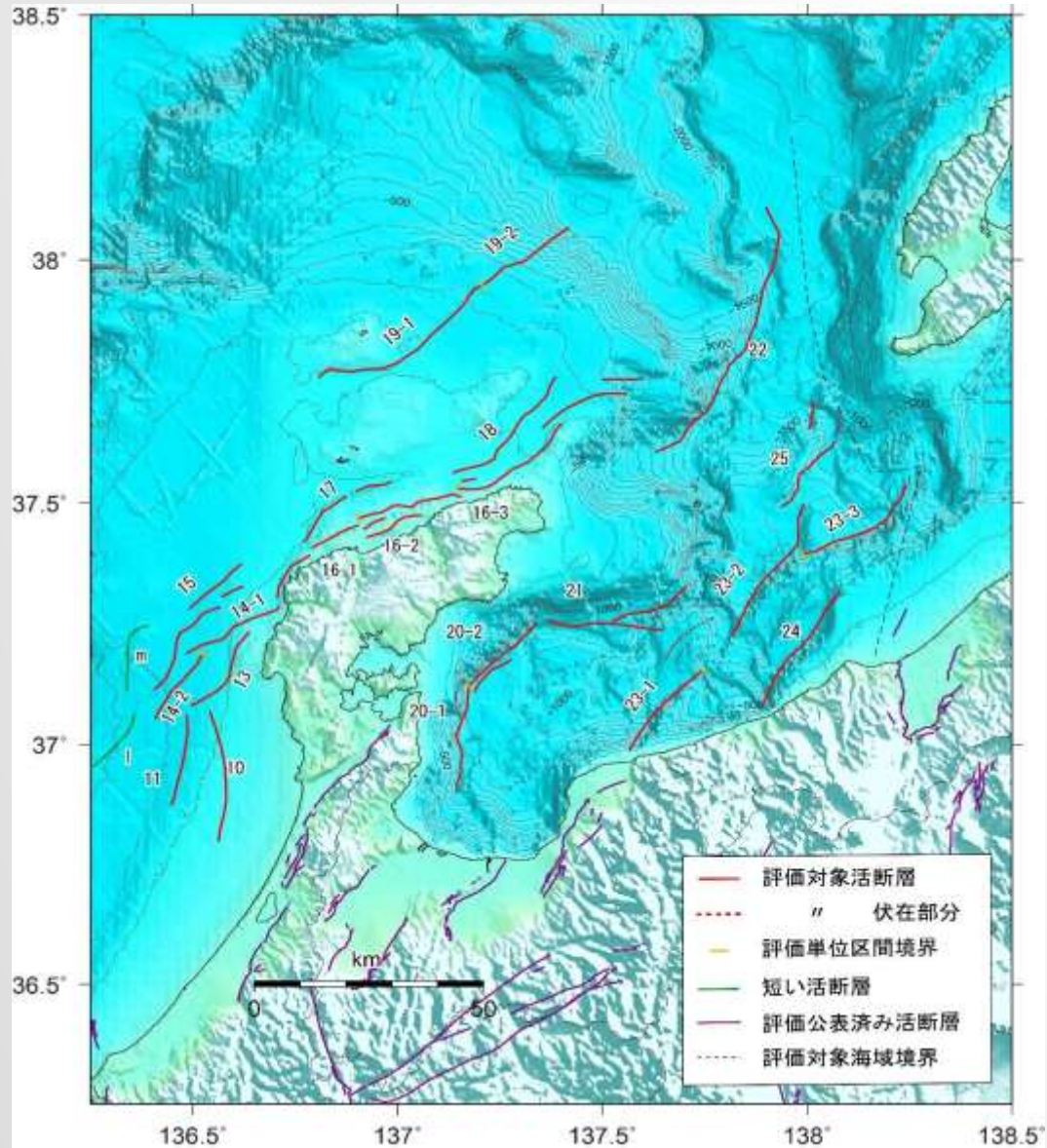
野田市が襲われる可能性のある 地震災害と気象災害

野田市危機管理課 気象防災アドバイザー
三浦郁夫

地震災害

能登半島地震を振り返る

能登半島地震



2024年1月1日16時10分
マグニチュード 7.6 最大震度 7

能登半島北岸の活断層
(図の14から16) が活動した。

死者263人 全壊住宅8千戸
(2024年5月28日現在)

輪島市の被害



珠洲市の被害



輪島市・珠洲市の被害 2



能登半島地震で明らかになった課題

- ・ 交通ネットワークの被災
 - ・ 道路、港湾、空港の被災
- ・ ライフライン復旧の長期化
 - ・ 半島地形という特殊性による電気、水道復旧工事の遅れ
- ・ 住宅倒壊、液状化被害
 - ・ 耐震化率が低かった
- ・ 劣悪な避難所環境
 - ・ 断水の長期化により、トイレ、風呂、洗濯が十分に使用できない
 - ・ 避難生活の長期化による医療的支援や福祉的支援の不足
- ・ 進まない2次避難
 - ・ 持病の不安
 - ・ 住み慣れた場所への愛着

能登半島地震で確認された良い点

- 広域的な応援体制
 - 地方整備局の応援
 - 自治体の対口支援
 - DMAT（災害医療派遣チーム）、DWAT(災害派遣福祉チーム)
- 地域コミュニティによる地域の防災力
 - 避難訓練に基づく避難行動
 - 隣近所が声をかけあい、体の不自由な住民を元気な人が背負い避難
- 新たな技術の活用
 - 可搬式浄水施設
 - 循環型シャワーシステム
 - 雨水利用
 - トイレカー、トイレトレーラー、キャンピングカー等

野田市を襲う可能性のある地震

プレート境界と活断層

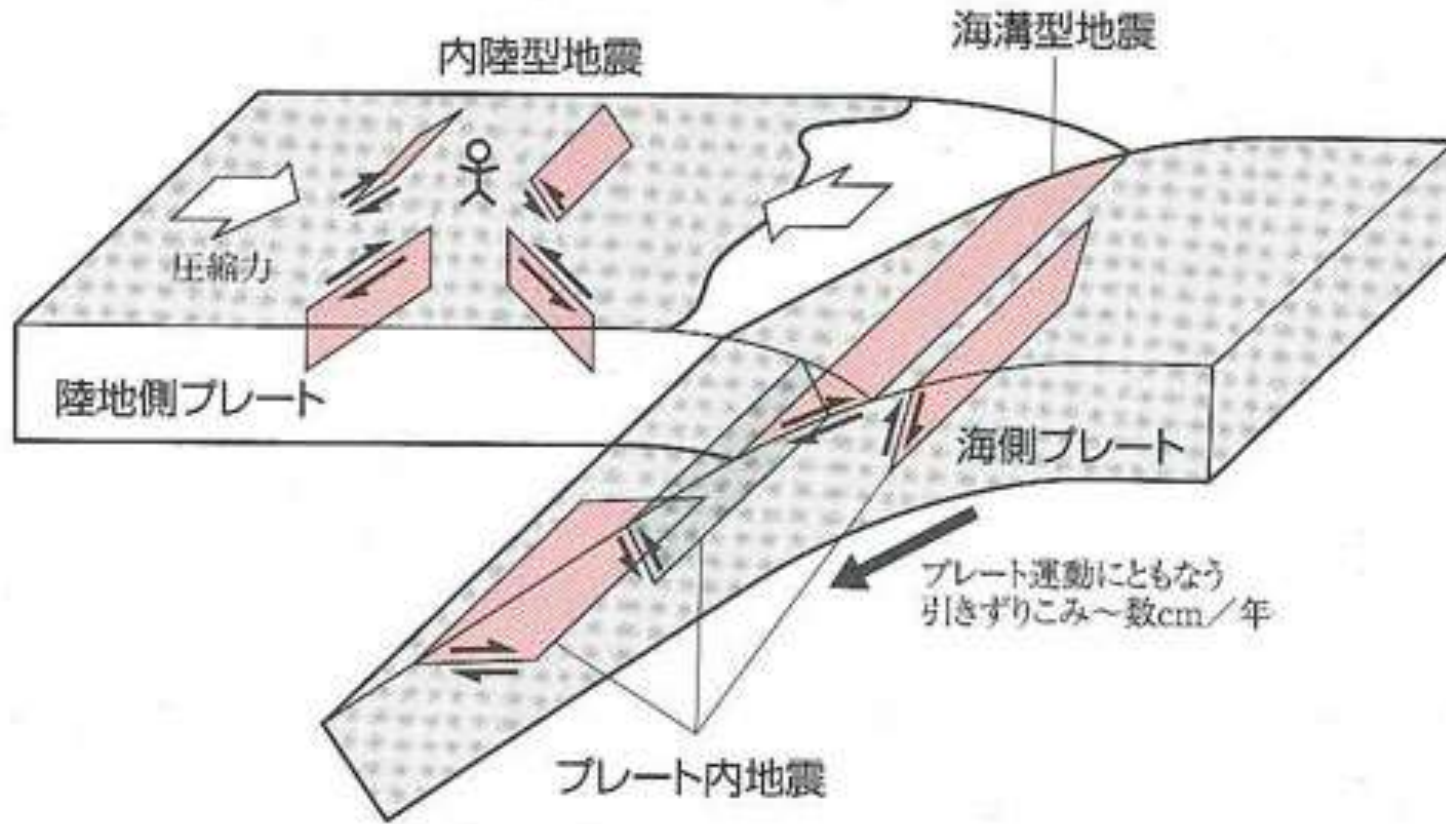


図-1 海溝型地震、プレート内地震、内陸型地震の模式図（岡田(2012)）

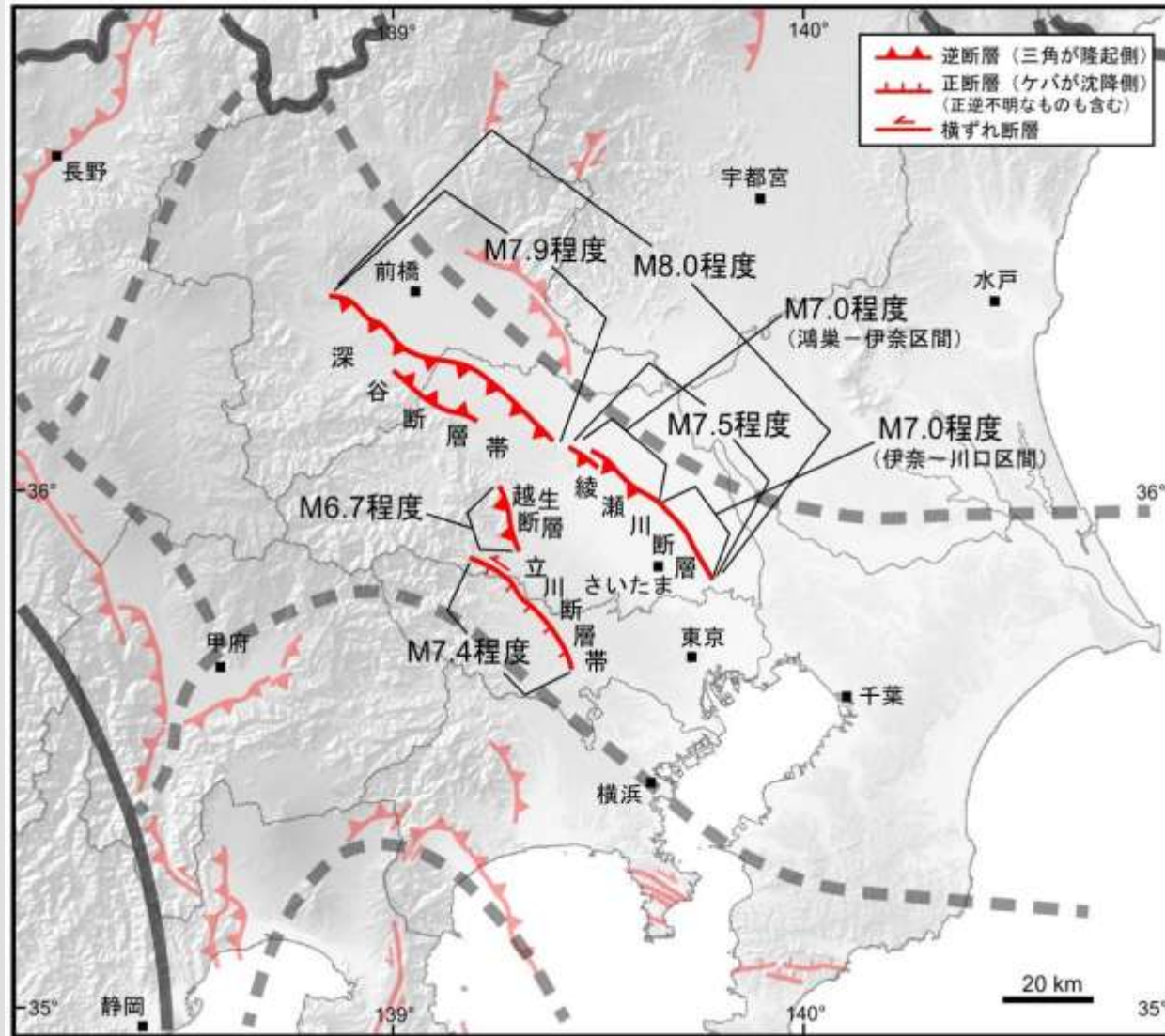
日本周辺では、海のプレートが沈み込むときに陸のプレートを地下へ引きずり込んでいきます。陸のプレートが引きずりに耐えられなくなり、跳ね上げられるように起こるのが「海溝型地震」です。

（例：2011年東北地方太平洋沖地震）

プレートの移動により圧縮されひずみが蓄積しつづけており、このひずみが限界まで達すると、日本列島をのせている陸のプレートの中で強度が弱い場所（＝断層）が壊れてずれ動きます。これを「内陸型地震」と呼びます。

（例：2016年熊本地震）

関東山地－関東平野の活断層（評価したもの）



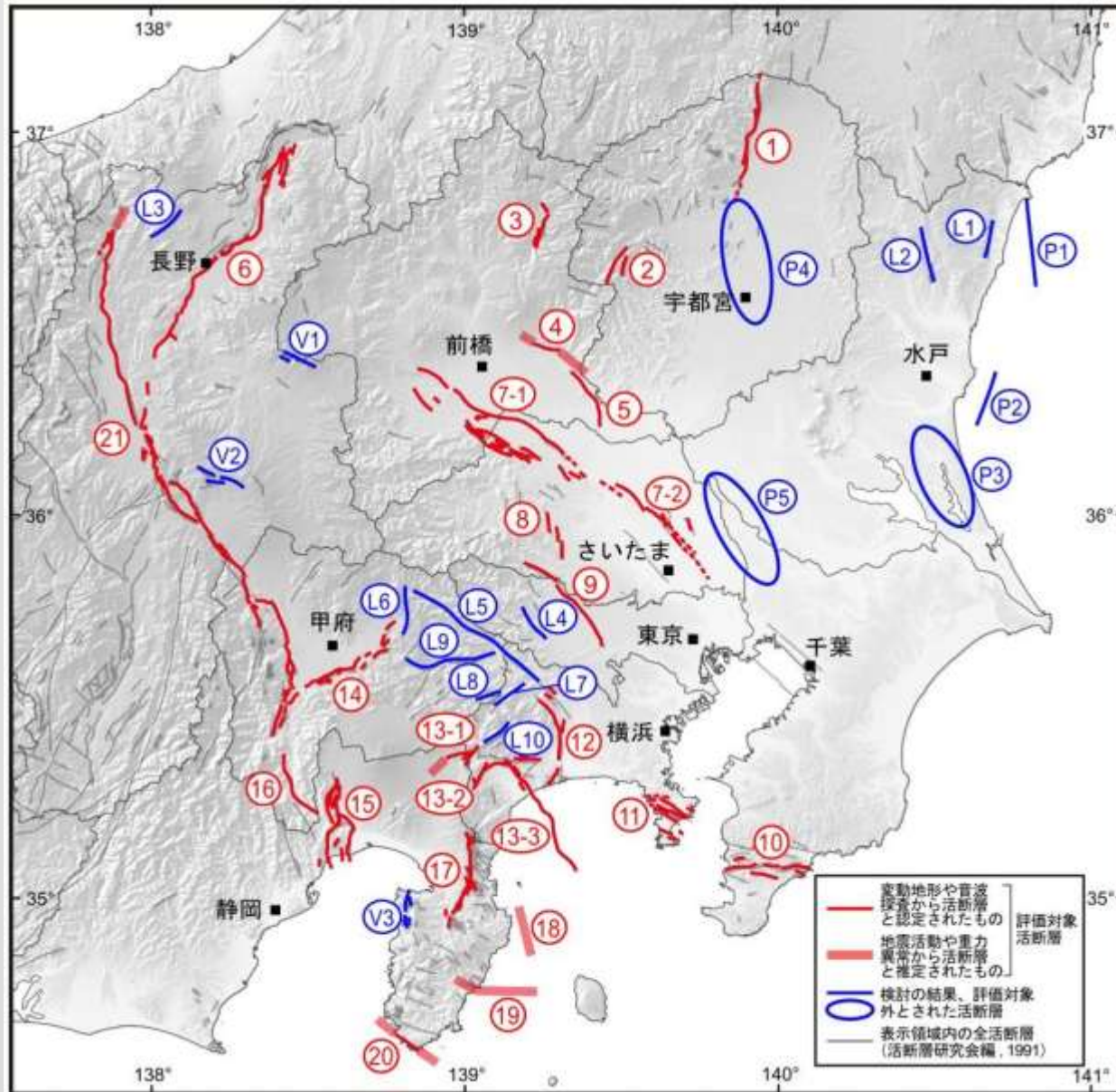
活断層でないとされてきた綾瀬川断層南部（伊奈－川口区間）において活断層によると思われる変動地形を確認、**活断層の可能性**を認定。

長さ約38km M7.5程度

深谷断層帯・綾瀬川断層全体では
M8.0程度

平成27年4月地震調査研究推進本部

関東山地－関東平野の活断層



活断層の可能性のある構造

- ・大洗沖／日立沖
- ・鹿島－行方地域
- ・関谷断層南方域
- ・野田地域

活断層の可能性の低い構造

棚倉破碎帯西縁、関口－黒磯、戸隠山、大菩薩嶺西、鶴川、武蔵五日市、扇山、道志川、長者舎、玄倉

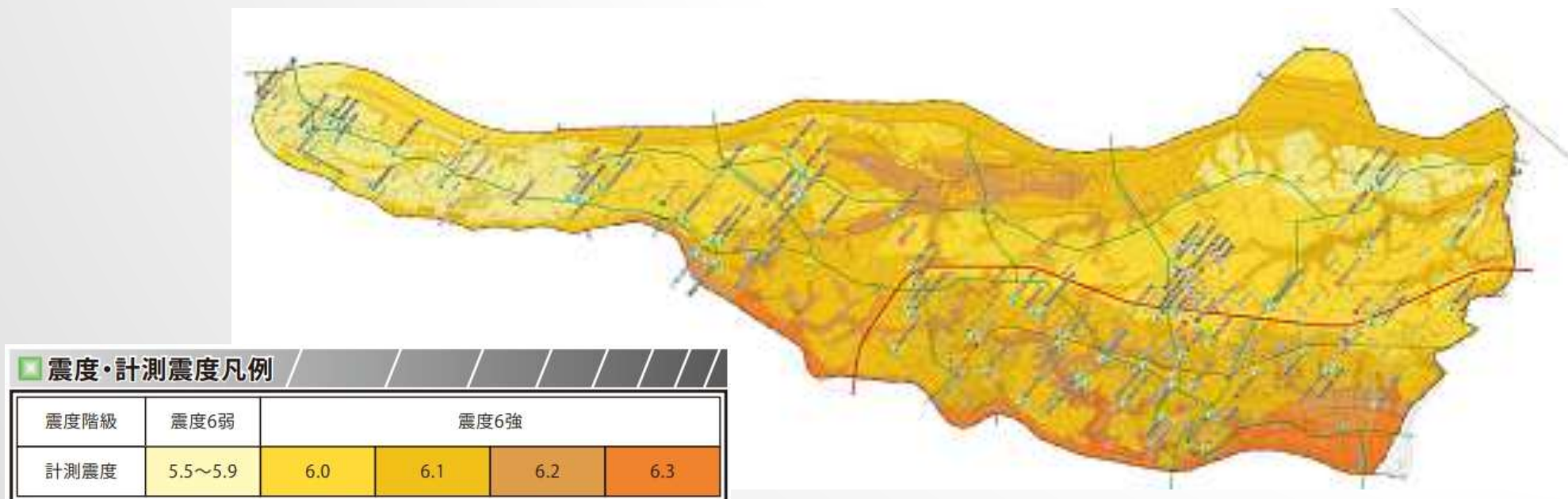
火山活動に伴う活断層

トーミ、霧ヶ峰、達磨山

平成27年4月地震調査研究推進本部

野田市ハザードマップで想定している内陸型地震

- ・ 市内の広い範囲で震度6強
 - ・ 固定していない家具は移動・転倒する。
 - ・ 多くの建物で、壁の大部分や窓ガラスが破損、落下する。
 - ・ 耐震性が低い建物では倒壊するものが多い（昭和56年以前に建てられたもの）。
 - ・ 耐震性が高い建物でも、壁や柱がかなり破損するものがある。
- ・ 河川の近くでは液状化の可能性が非常に大きい



南海トラフ地震とは

2024年8月8日16時43分頃に発生した地震

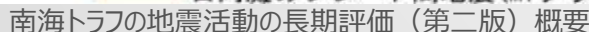


- ・ 日向灘を震源とするM7.1の地震
- ・ 南海トラフ地震の「想定震源域」内



- ・ **南海トラフ地震臨時情報発表**
- ・ 巨大地震に備えて防災対策の推進地域に指定されている29の都府県の707市町村に地震への備えを改めて確認してほしいと呼びかけ
- ・ 通常の発生確率0.1%⇒1%に上昇
 - ・ 白良浜海水浴場閉鎖
 - ・ 企業等は情報収集体制
 - ・ よさこい祭り、阿波踊りは通常通り開催
 - ・ 高知県で避難所開設
- ・ 8月15日呼びかけ終了

・南海トラフ巨大地震←科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震



- 17

南海トラフ地震に関連する情報

南海トラフ臨時情報	巨大地震警戒	・想定する震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	・監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価した場合 ・想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくり滑りが発生したと評価した場合
	調査中	・臨時に評価検討会を開催する場合
	調査終了	・巨大地震警戒、巨大地震中のいずれにも当てはまらない
南海トラフ地震解説情報		・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ・評価検討会の定例会合における調査結果を発表する場合

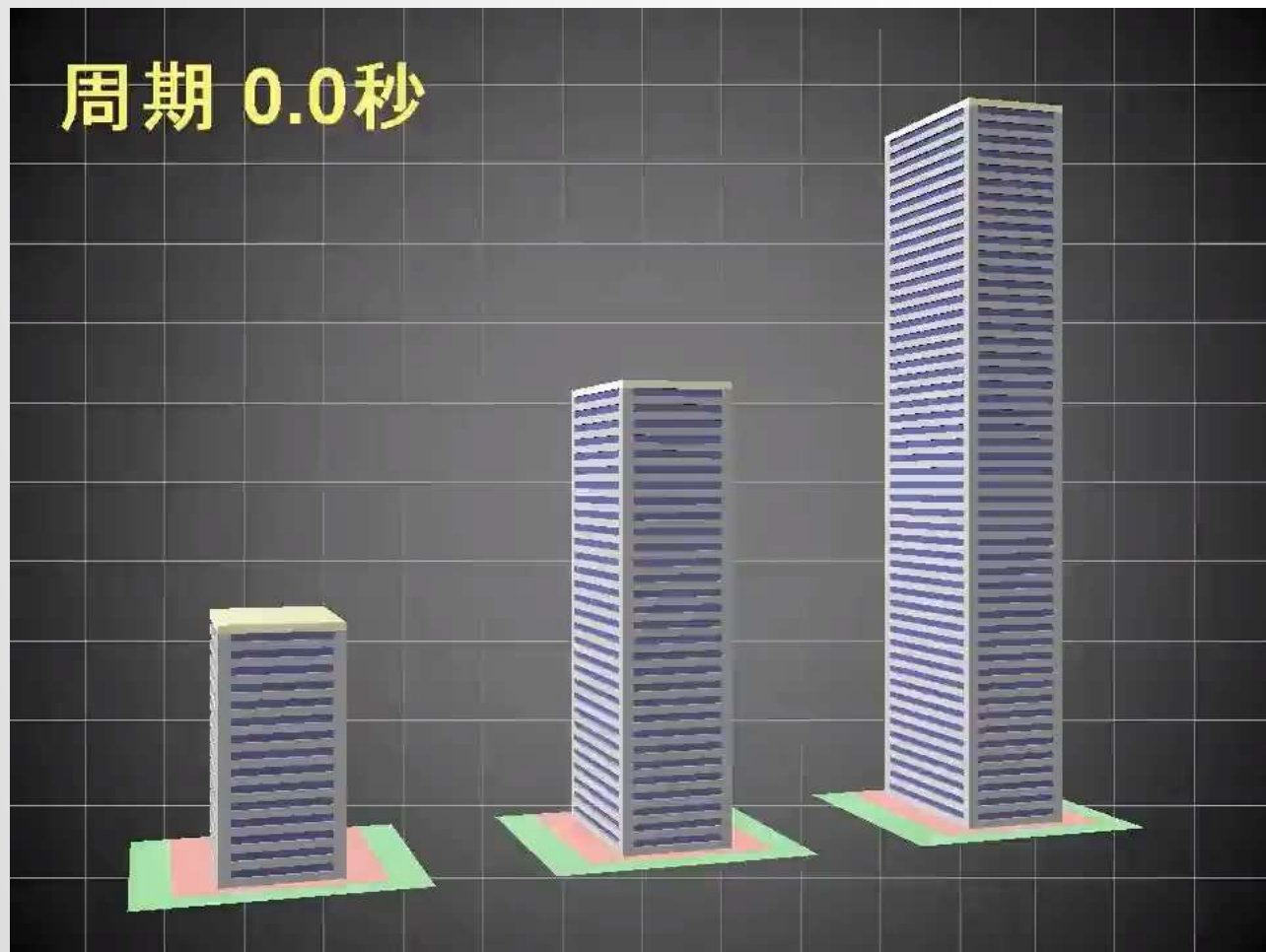
情報発表時の防災対応の例

南海トラフ臨時情報	巨大地震警戒	・発生後の避難では間に合わない住民は1週間の事前避難。 ・日ごろからの地震の備えの再確認に加え、特別な備えを行い、必要に応じて自主的に避難。 ・1週間経過後もさらに1週間は特別な備え（自主避難）
	巨大地震注意	・日ごろからの地震の備えの再確認に加え、特別な備えを行い、必要に応じて自主的に避難。
	調査中	・個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始、情報に留意。
	調査終了	・地震の発生に注意しながら通常の生活。

- ・情報の発表がないまま、**突発的に南海トラフ地震が発生**することもあります。
- ・地震発生の可能性が相対的に高まったと評価しても、**地震が発生しないこと**もあります。
- ・調査終了後も、南海トラフが発生する切迫性は高く、**いつ地震が発生してもおかしくない状況**です。

長周期地震動

周期 0.0秒



15階建

30階建

50階建

ビルの揺れを分かりやすくするために揺れの大きさを誇張しています

長周期地震動とは

大きな地震で生じる「周期の長いゆっくりとした大きなゆれ」。

震源から数百km離れたところでも、

高層ビルを長時間にわたって大きくゆらす。

家具が転倒したり、エレベーターが故障したりする。



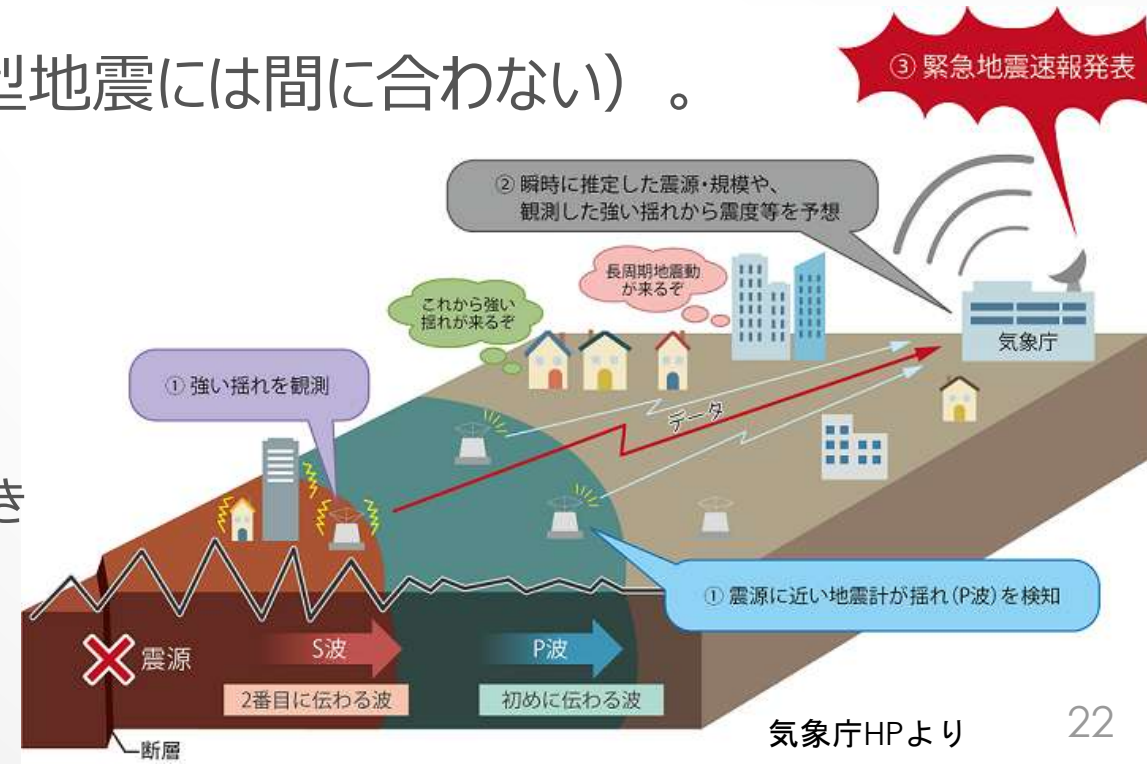
階級	ゆれの状況
4	はわないと移動できない。ゆれにほんろうされる。
3	立っていることが困難になる。
2	ものにつかまらなないと歩くのが難しい。
1	多くの人がゆれを感じる。ブラインドなどが大きくゆれる。

監修：気象庁 作成：Yahoo!ニュース

地震・津波に備える

緊急地震速報

- ・ 伝搬速度の速いP波で地震の震源・規模、揺れの大きさを推定して警報・予報を発表する。
- ・ 伝搬速度が遅いが揺れは強いS波にそなえる。
- ・ 震度の推定には誤差がある（観測地点から100km以上離れた震源）
- ・ 震源が近い場合は間に合わない（内陸型地震には間に合わない）。
 - ・ 備えられる時間は数秒から数十秒
 - ・ 備えられる環境にいることが大事
- ・ 発表条件
 - ・ 最大震度5弱以上が予想されたとき
 - ・ 最大長周期地震動階級3以上が予想されたとき
 - ・ 上記の予想された地域＋震度4以上の地域に



地震の被害を軽減するために

・発災前

- ・耐震化
- ・家具の転倒・落下・移動の防止
- ・けがの防止対策
- ・消火の備え
- ・非常用品（備蓄品）の用意

・発災直後

- ・火災の早期発見・防止
- ・安否確認（LINE、メール、災害用伝言ダイヤル171）

東京消防庁・総務省消防庁HPより



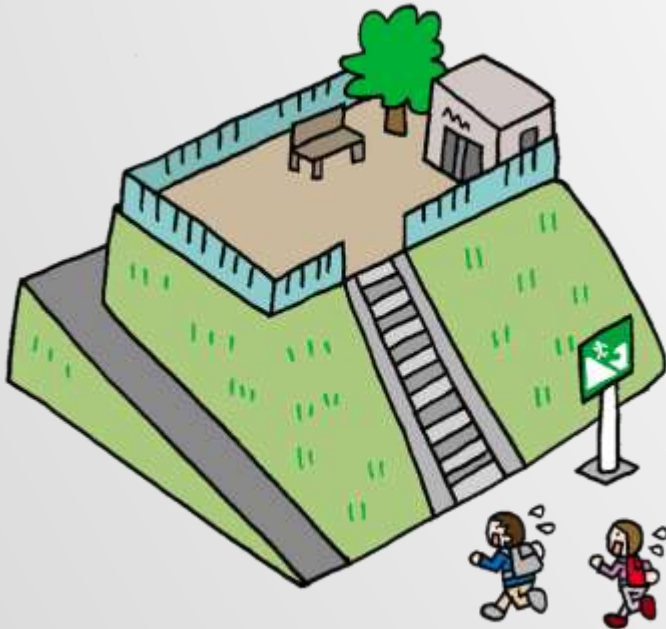
津波警報

- ・ 野田市に津波警報が発表されることはありません。
- ・ 南海トラフ地震など、太平洋側で大きな地震が発生すると九十九里浜や木更津市、君津市などで津波が発生します。
- ・ 東北地方太平洋沖地震のような規模の大きな地震が発生した場合、津波の高さの予想に時間がかかるため、「巨大」と表現されます。

種類	発表基準	数値での発表	巨大地震の場合の発表	想定される被害	とるべき対応
大津波警報	予想される津波の最大派の高さが高いところで3mを超える場合	10m超	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難。
		10m			
		5m			
津波警報	予想される津波の最大派の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。	
津波注意報	予想される津波の最大派の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m	(表記しない)	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、養殖いかだが流出し、小型船舶が転覆する。	海の中にいる人は直ちに海から上がって、海外から離れる。

津波フラッグ

- 大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたことを知らせる旗。
- 聴覚に障害のある方、音が聞き取りにくい遊泳中の方に知らせる。
- 津波フラッグを見たら速やかに避難。



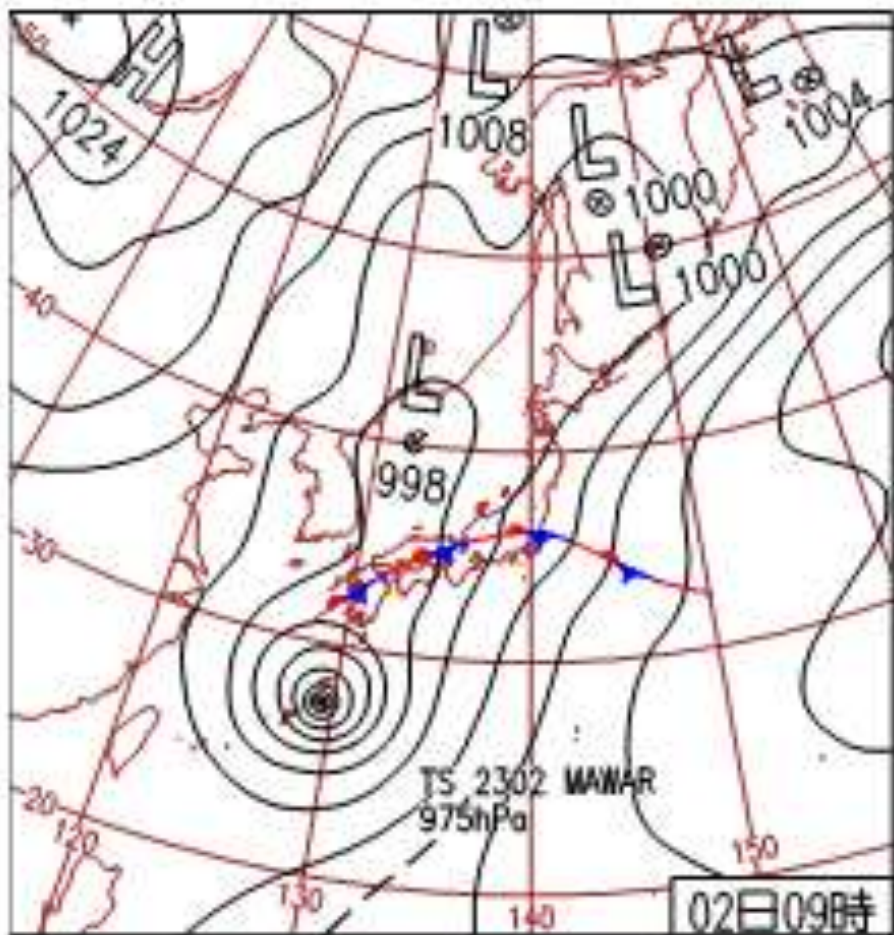
気象災害

近年の野田市における大雨・暴風

過去5年間に野田市に発表された大雨警報

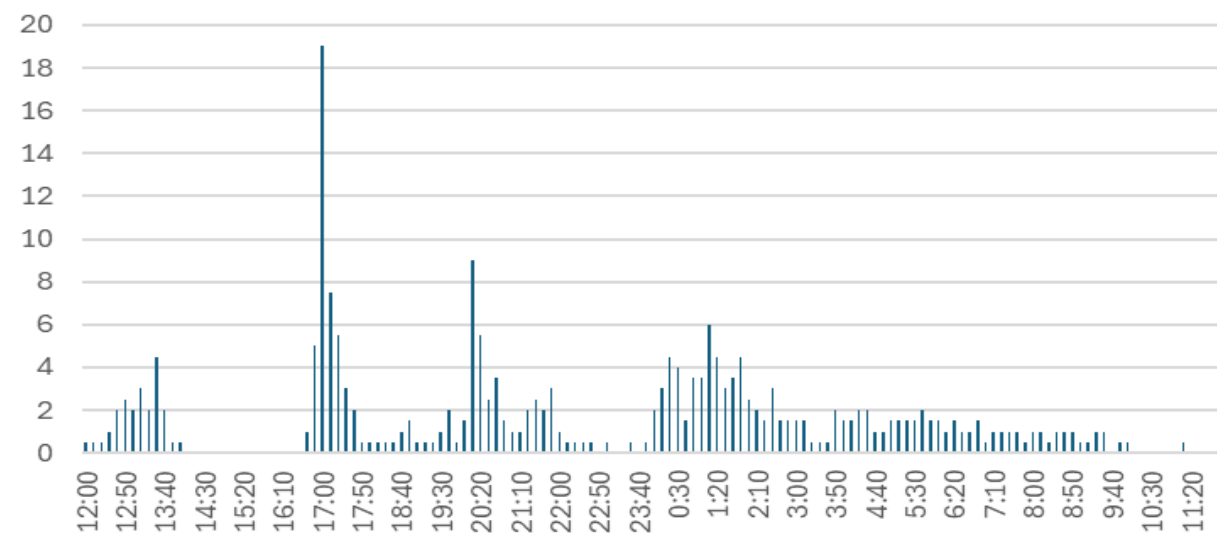
年	要因	発表時刻	解除時刻
2024年	台風第7号	8月16日 04:16	8月16日 22:42
2023年	線状降水帯	9月 8日 09:49	9月 9日 00:10
	台風第2号と前線	6月 2日 16:08	6月 3日 13:54
2022年	台風第15号から変わった低気圧	9月24日 01:57	9月24日 06:04
	大気不安定	9月 1日 17:58	9月 1日 19:40
2021年	梅雨前線	7月10日 20:03	7月10日 23:15
	梅雨前線	7月 3日 03:28	7月 3日 14:09
	低気圧	3月13日 15:19	3月13日 18:02
2020年	大気不安定	9月 4日 19:25	9月 4日 21:41

2023年6月の局地的大雨



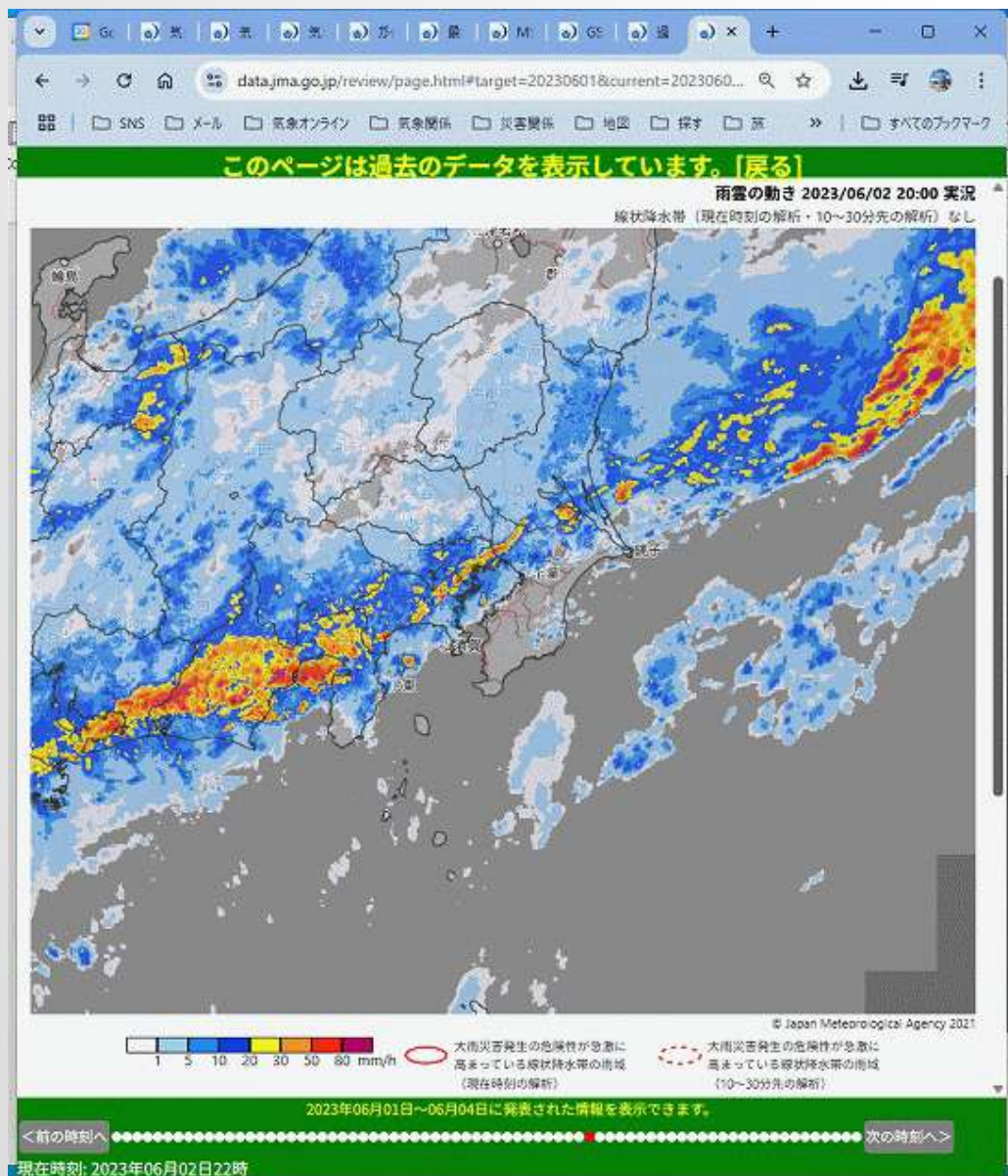
- 2023年6月2～3日
 - 停滞前線に台風の外側の湿った空気が流れ込む
 - 我孫子で総雨量265.5ミリ
 - 野田市消防本部雨量計は311ミリ
 - 市内で床下浸水4棟
 - 避難指示発令 避難所1か所開設

我孫子の10分間降水量の推移

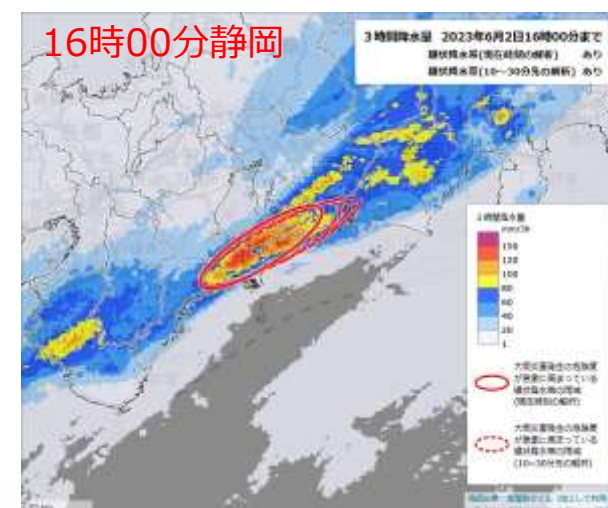
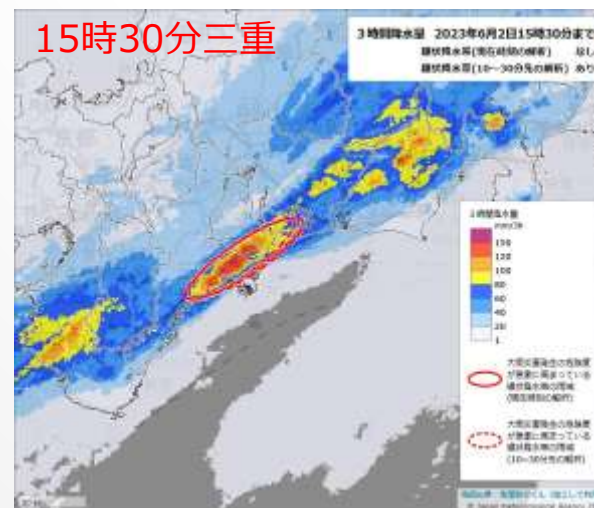
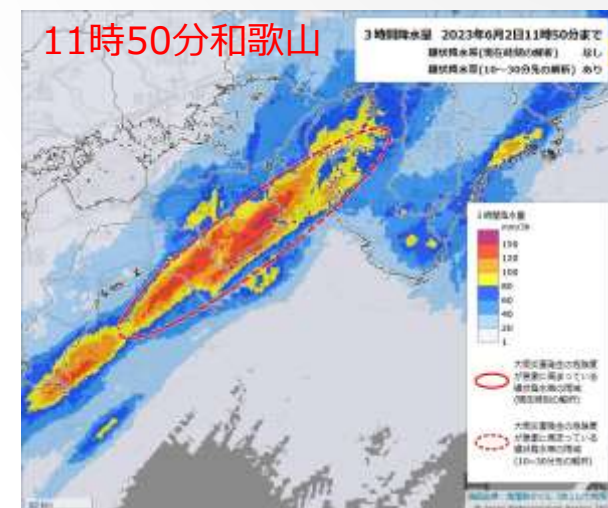
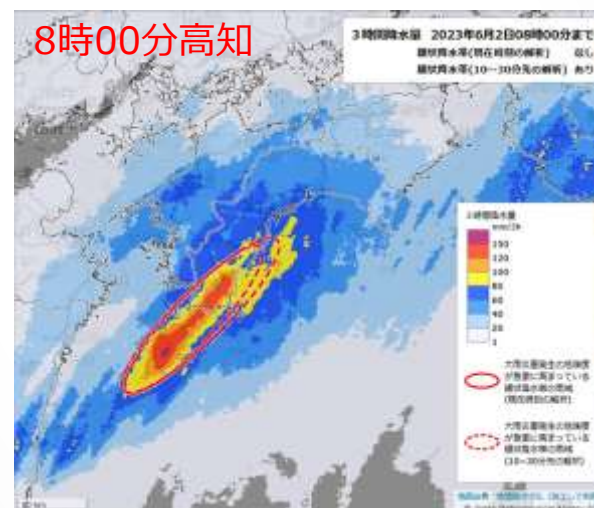


2023年6月の大雨

- 線状の降水帯が南北に移動
- 各地で「顕著な大雨に関する情報」を発表



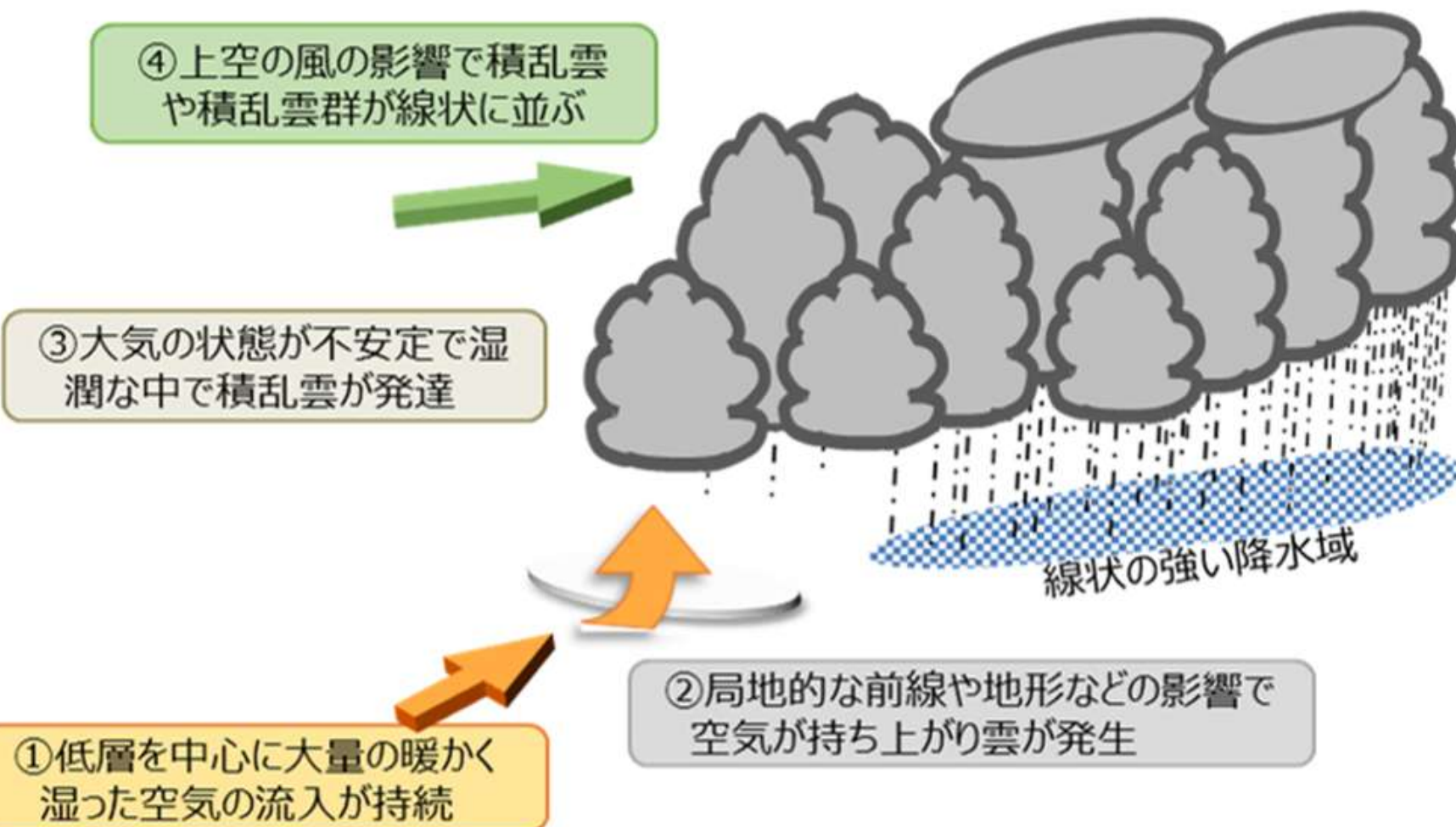
2023年6月2日20時～6月3日2時のレーダーエコー



気象庁HPより

線状降水帯とは

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



状況

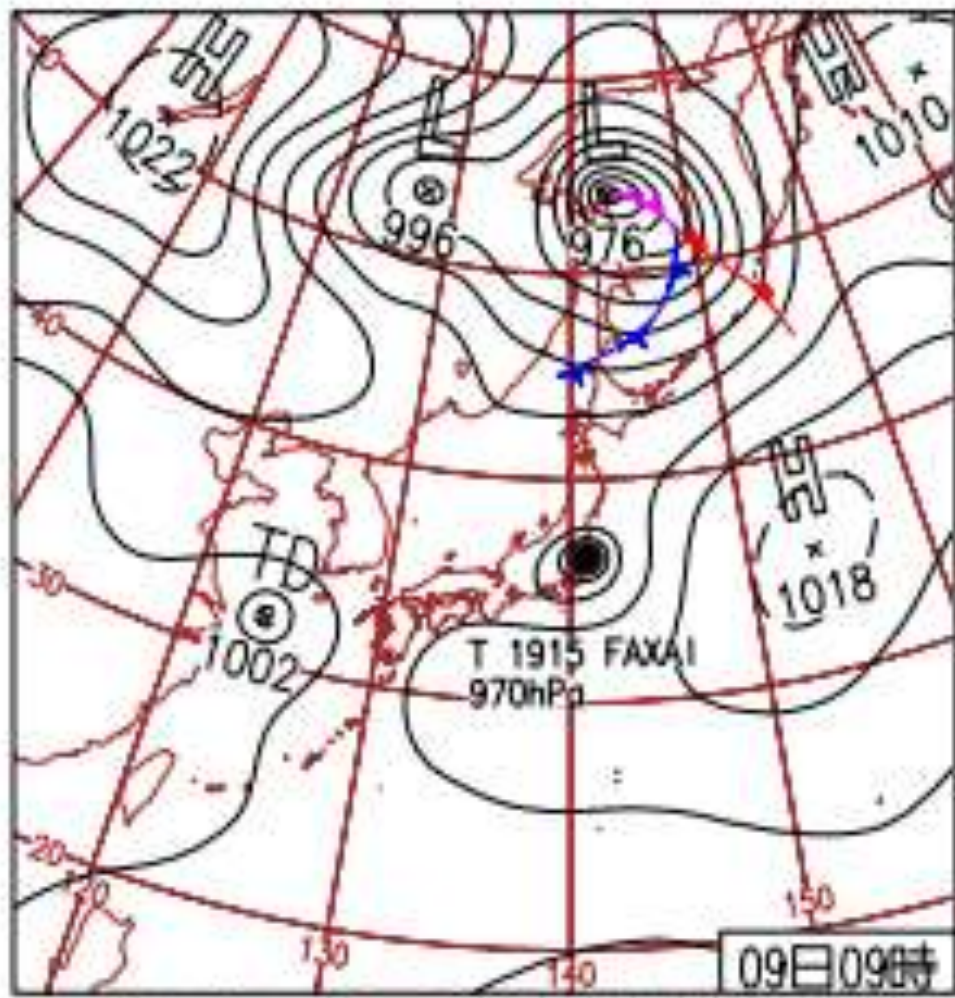
- ・1時間50ミリ以上の滝のように降る雨が数時間続く
- ・土砂崩れ、低地の浸水、中小河川の洪水などの災害が一斉に発生する

予測

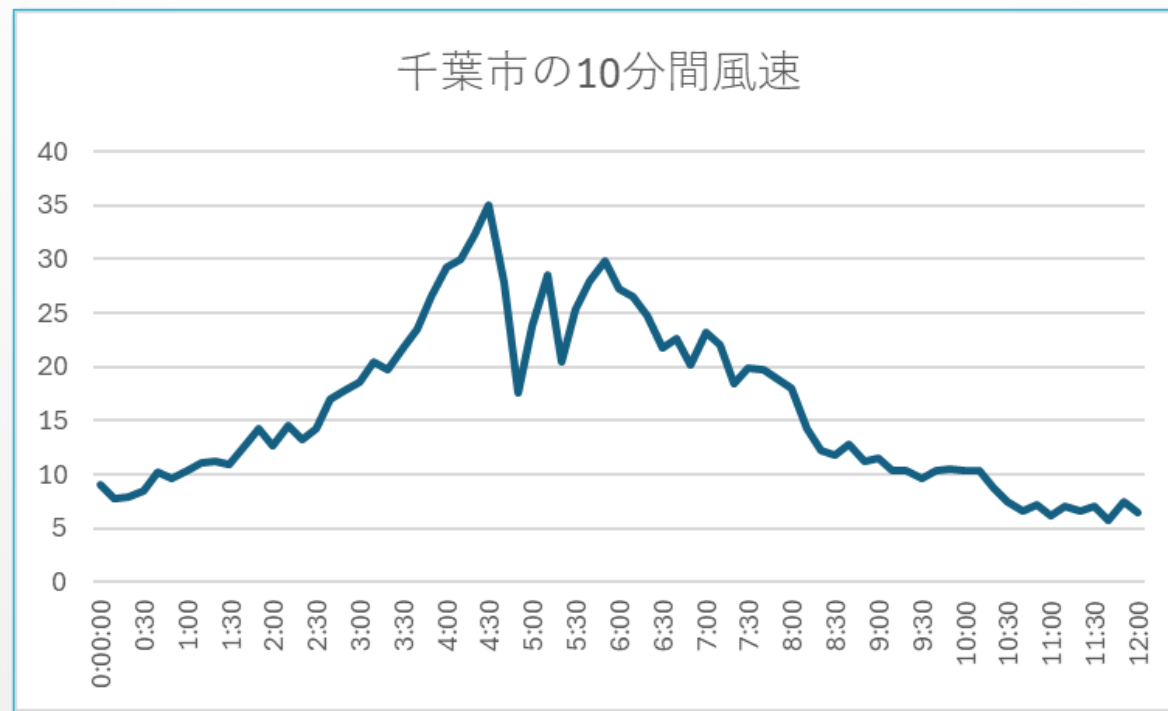
- ・おおよその発生場所は予測できる
- ・移動の予測が困難
- ・発達衰弱予測が困難

発生を確認した時には
手遅れになることが多い

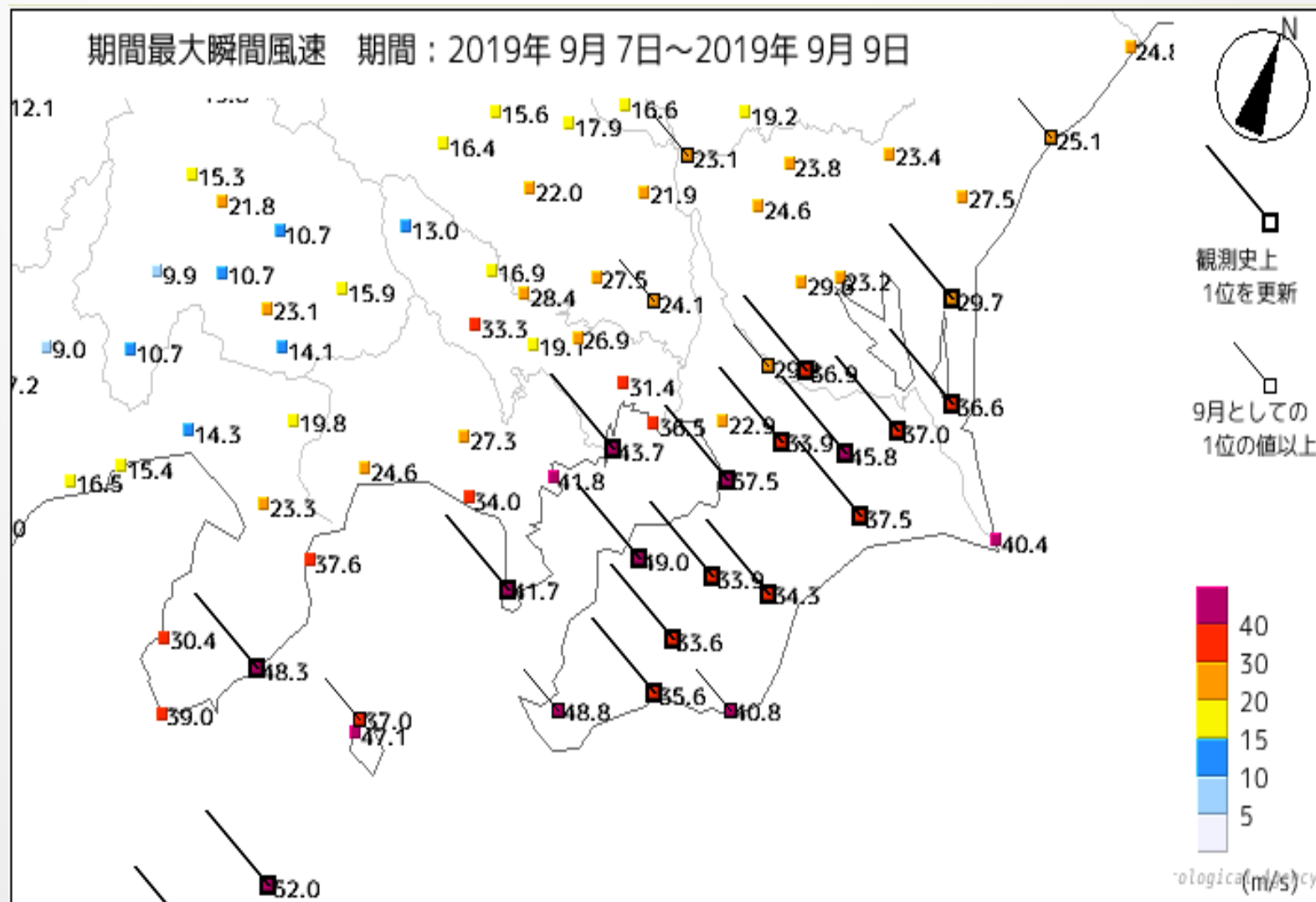
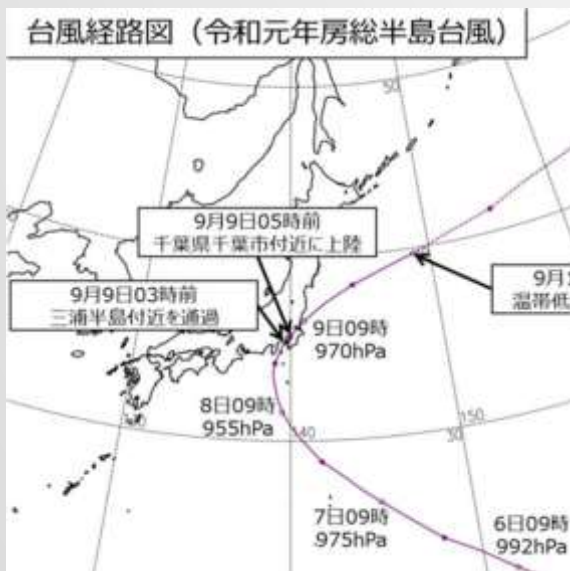
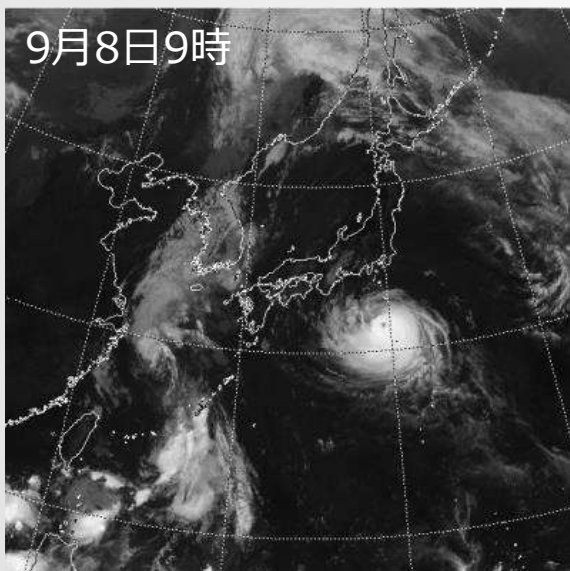
2019年第15号台風（房総半島台風）



- 上陸時に中心気圧955hPa、暴風半径90km、最大風速45m/sの中心付近の風が非常に強い台風であった。
- 千葉市：最大風速35.7m/s 最大瞬間風速57.5m/s
- 勝浦市：最大風速29.5m/s 最大瞬間風速40.8m/s



台風の進行方向右側で強風被害



2019年台風第15号による被害

人的被害・建物被害

都道府県名	人 的 被 害					住 家 被 害					非住家被害	
	死者		行 方不 明者	負 傷 者		全壊	半壊	一部破 損	床上浸 水	床下浸 水	公共建 物	その他
	人	うち 災害関連死者		重傷	軽傷							
		人		人	人							
福島県						1			5	6		
茨城県				1	24	4	84	4,705		1		584
栃木県					1			3				
埼玉県				1	9			15	1			
千葉県	2	2		8	74	363	3,929	62,986	34	57		801
東京都	1				6	12	68	1,425	13	11		226
神奈川県				3	10	11	76	2,665	68	32		48
静岡県					13		47	480		2		1
合 計	3	2		13	137	391	4,204	72,279	121	109		1,660

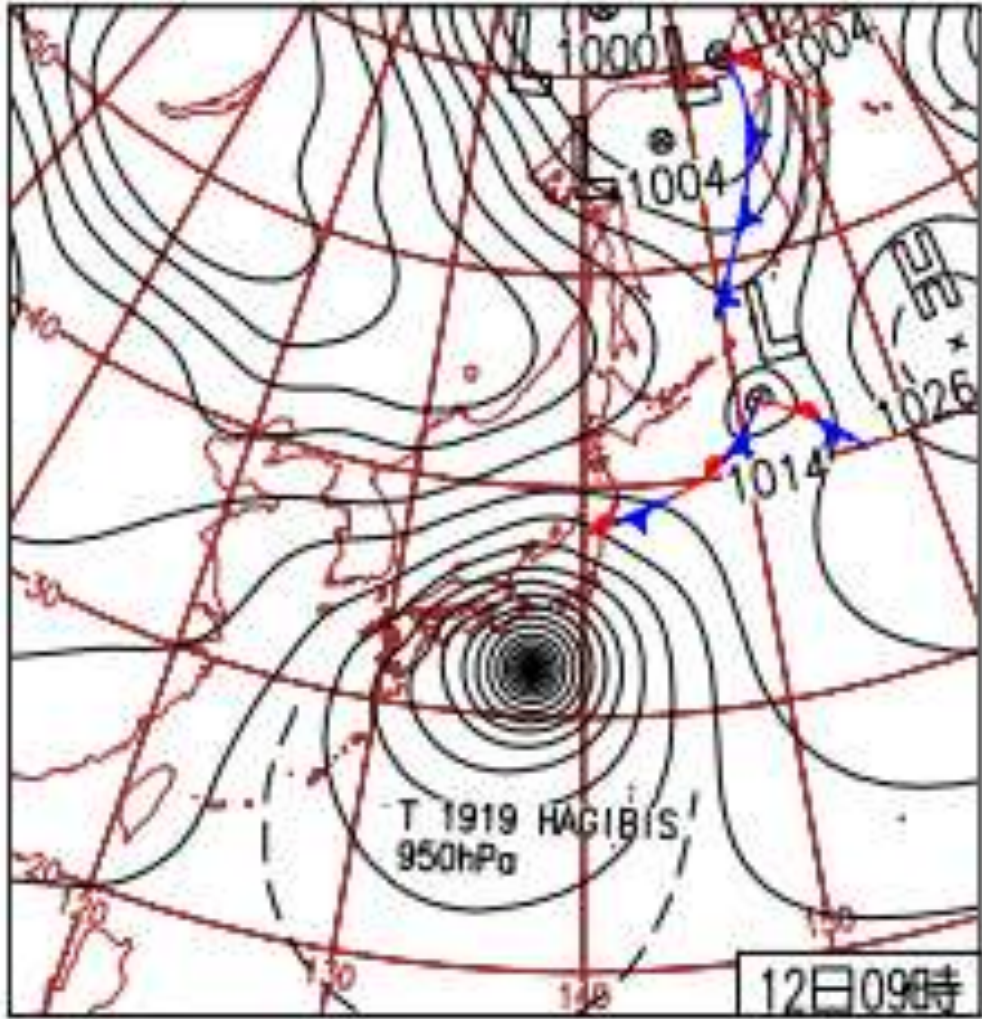
総務省消防庁調べ



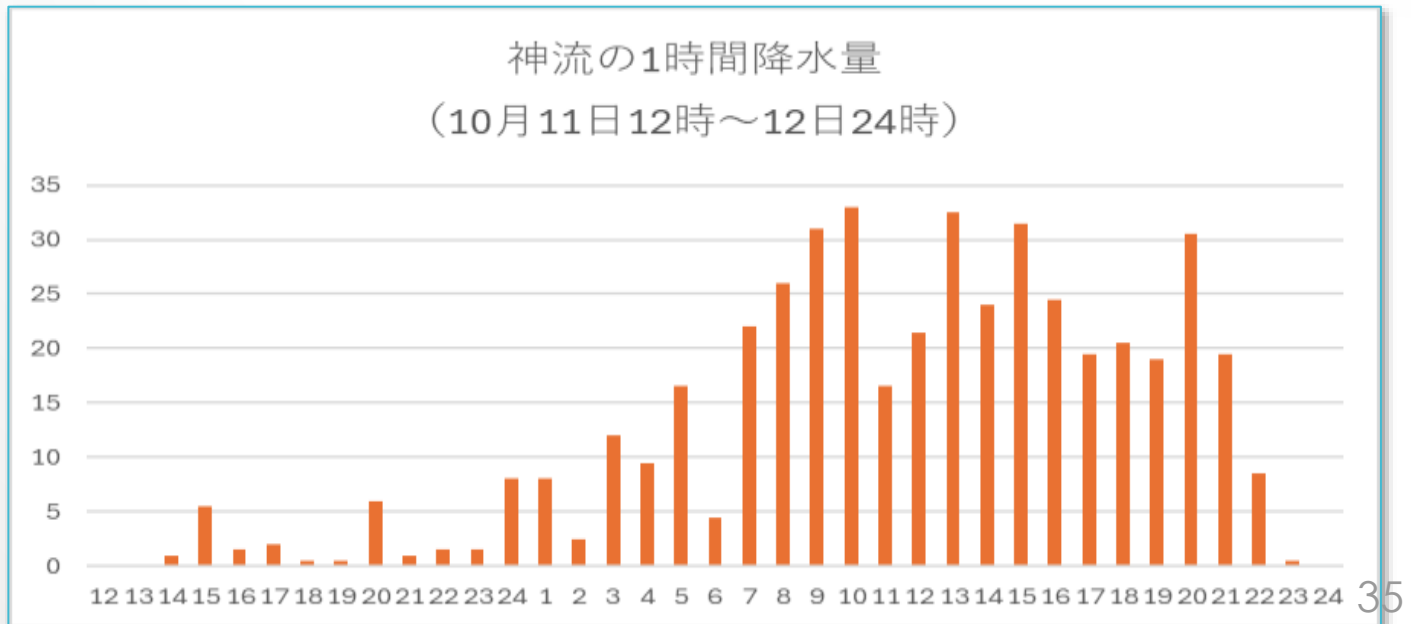
暴風により県内の広い範囲で長時間にわたり停電が発生。

内閣府資料より

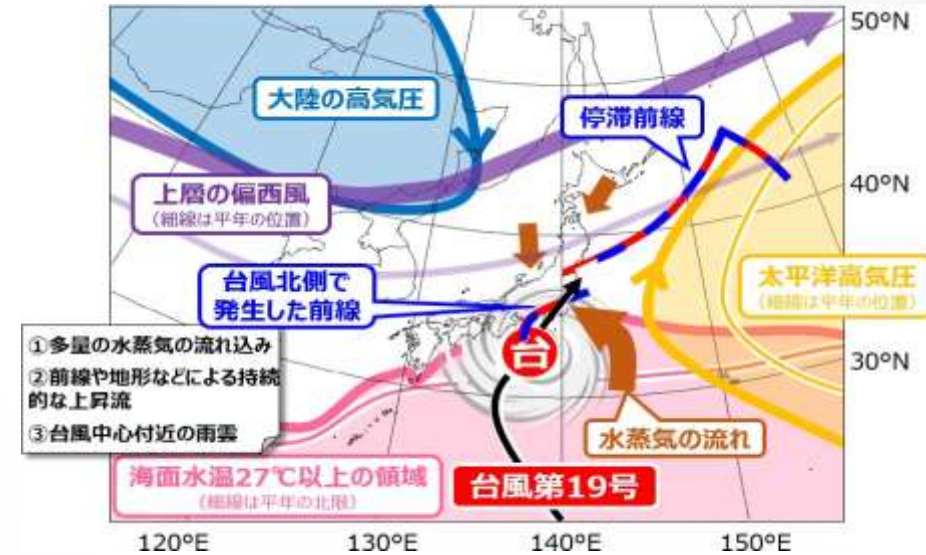
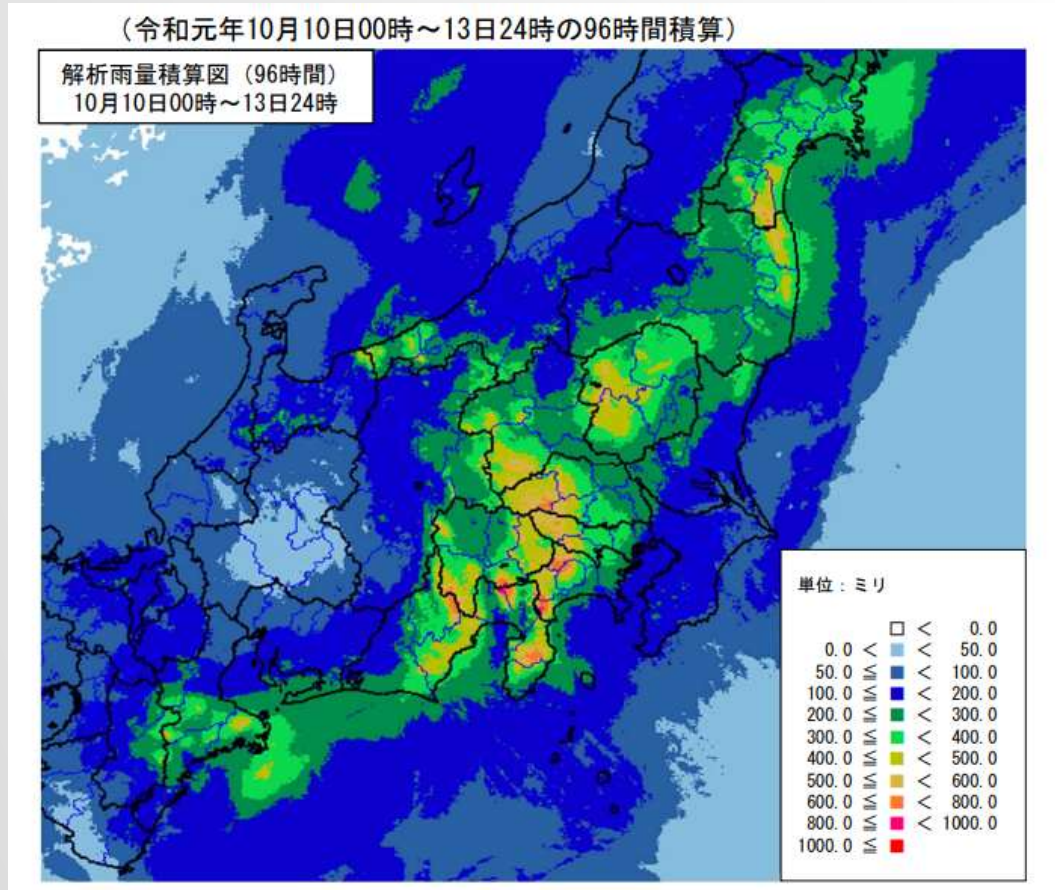
2019年台風第19号（東日本台風）



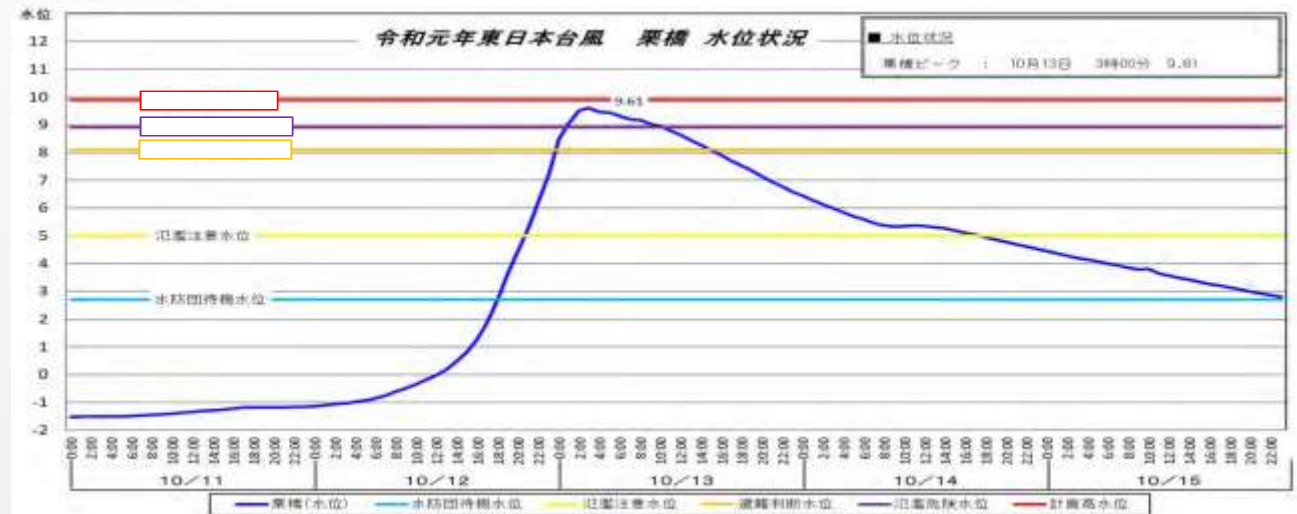
- 2019年10月12～13日
 - 我孫子で総降水量150.0ミリ 最大瞬間風速30.2m/s
 - 群馬県神流町で総降水量465.0ミリ（観測史上2位）
 - 栗橋、芽吹橋で氾濫危険水位を超える
 - 一部損壊 42棟
 - 避難準備・高齢者等避難開始発令、避難勧告発令



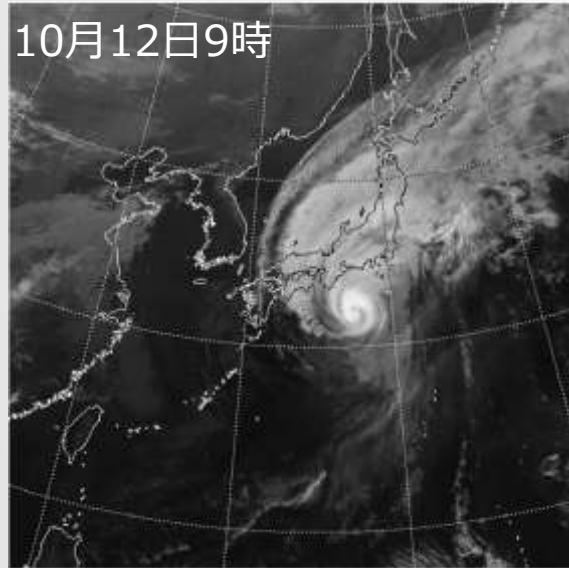
広範囲で大雨 大河川で水位上昇



栗橋水位観測所

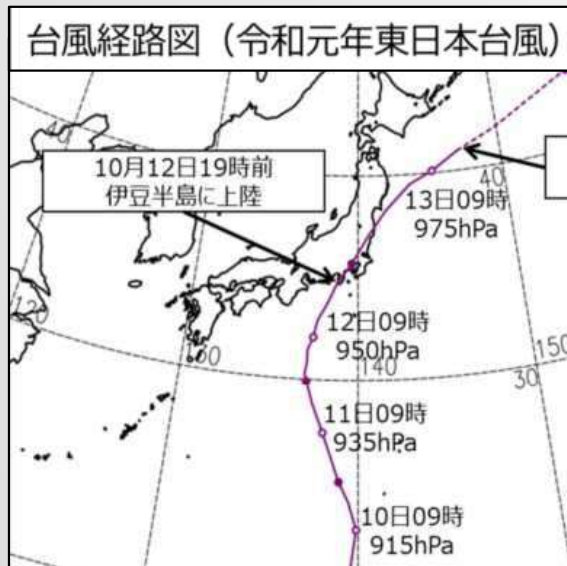


突風（竜巻）による災害も



10月12日8時8分頃に竜巻発生
最大風速約65m/s

千葉県市原市永吉（ながよし）から潤井戸（うるいど）にかけて
被害の範囲の長さは約1.6km、幅は約520m



気象庁HPより



2019年台風第19号による被害

人的・建物被害

都道府県名	人的被害					住家被害					非住家被害	
	死者	うち 災害関連死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
				重傷	軽傷							
				人	人							
岩手県	3			4	3	41	790	788	144	953		1,363
宮城県	19		2	8	35	302	2,997	2,860	1,614	12,151	17	61
山形県				2	1	1	5	33	65	98		8
福島県	37	5		1	58	1,489	12,560	6,977	1,161	443	42	8,812
茨城県	2		1		20	146	1,601	1,501	27	523		946
栃木県	4			4	19	83	5,223	8,666	2	133	14	1,098
群馬県	4			1	8	22	296	572	22	112	3	76
埼玉県	4	1		1	32	134	541	699	2,370	3,388		105
千葉県	12			4	28	67	1,986	7,507	473	898		24
東京都	1				10	36	661	1,034	318	532	25	32
神奈川県	9			3	35	54	826	2,499	877	579	21	192
新潟県				2	3	3	9	48	25	278	3	13
山梨県					1	2	3	74	1	6		1
長野県	5			6	39	920	2,505	3,479	5	1,407	24	937
静岡県	3	1		2	5	8	12	495	967	1,312	36	98
合 計	104	7	3	43	341	3,308	30,024	37,320	8,129	22,892	187	13,784

※上記数値には10月25日からの大雨による被害状況を含む（別紙2参照）。

総務省消防庁調べ



内閣府資料より

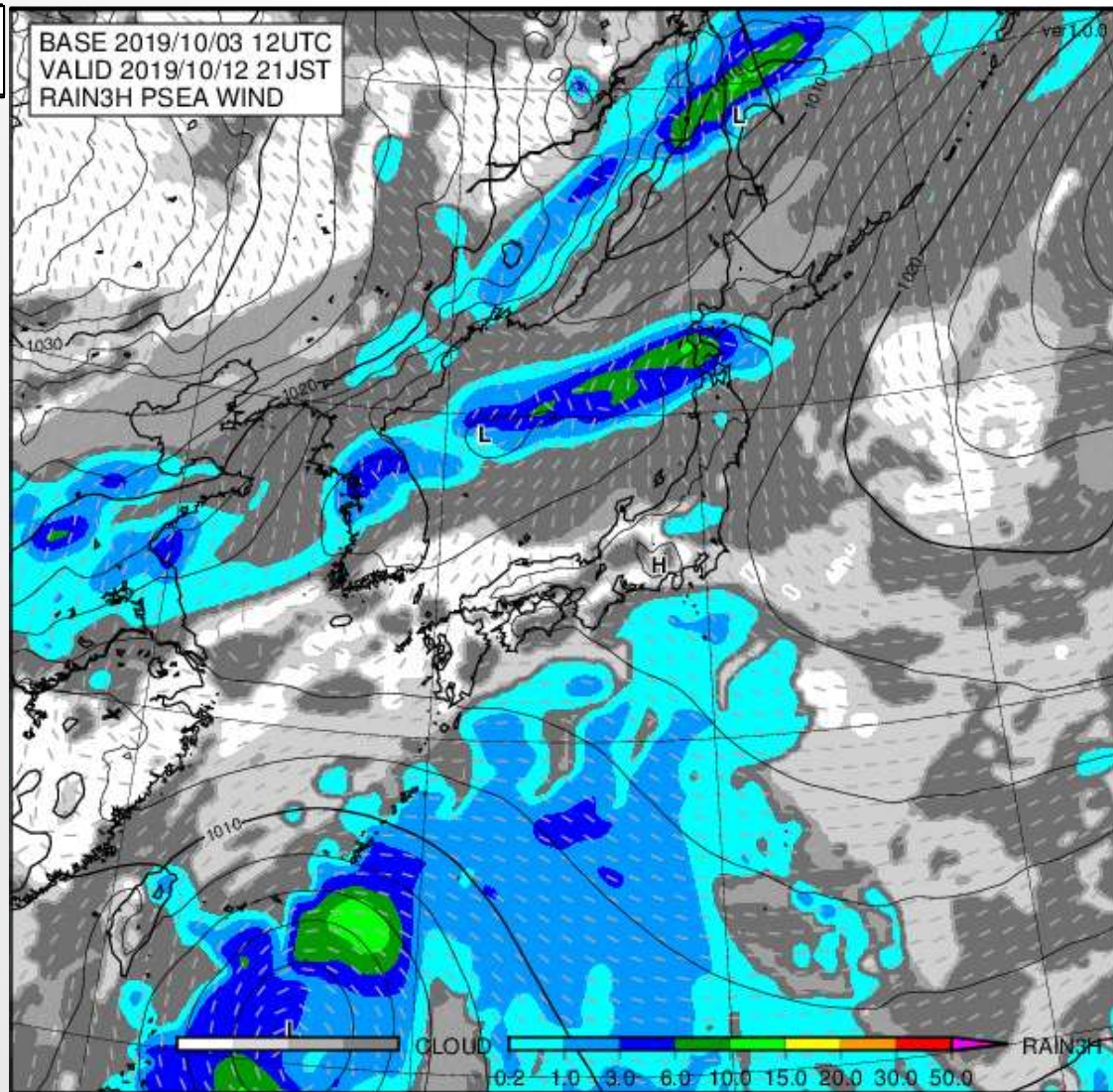


NHKアーカイブスより

良く当たった台風予想資料

180時間前

132時間前（5日
半前）には、台
風が関東地方を
襲うことを予想
していた



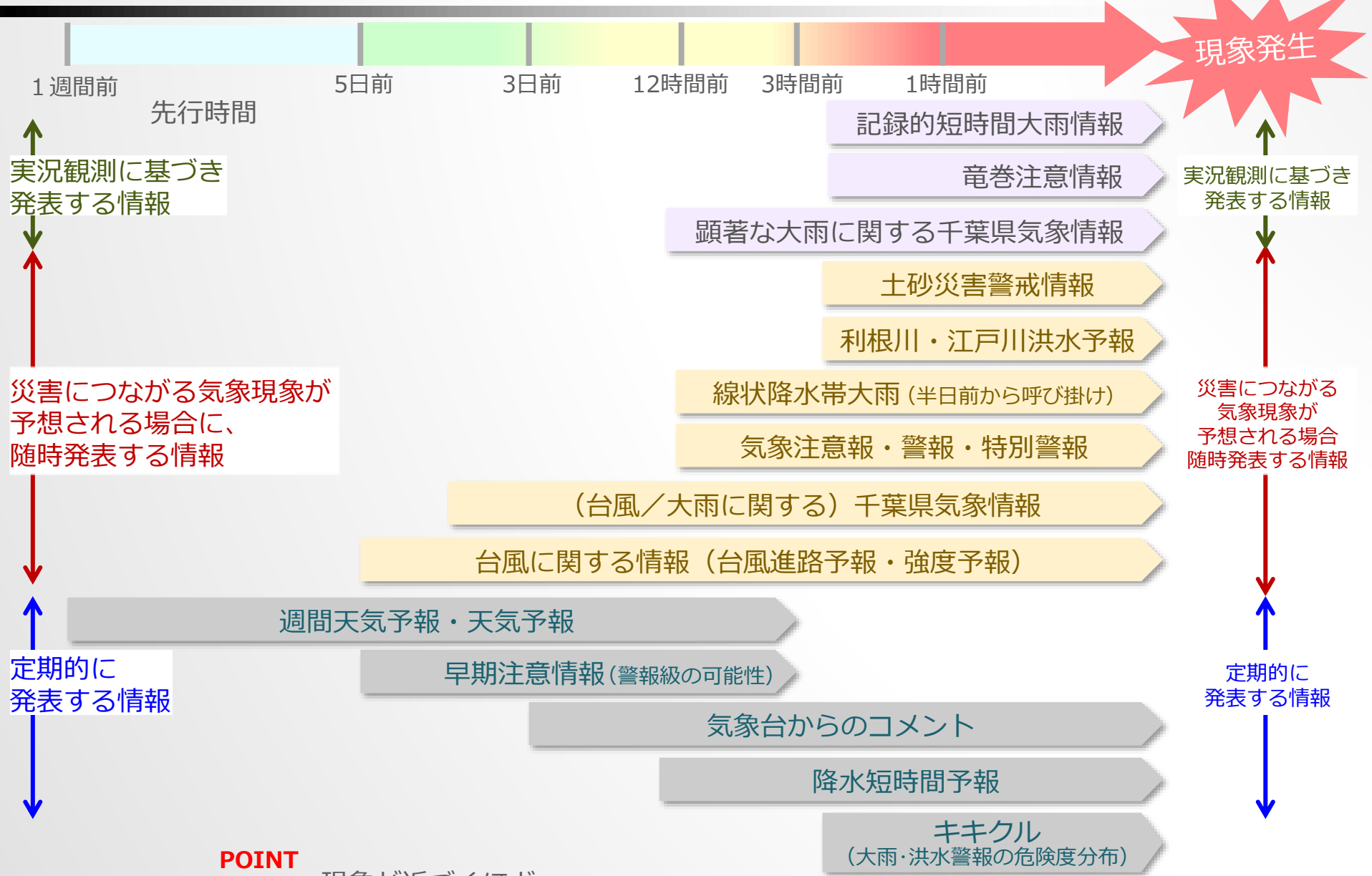
10月12日21時を
予想した
台風予想資料

10月8日15時の予報
（上陸4日前の予報）



段階を追って発表される気象情報

段階を追って発表する防災気象情報 ~発表タイミング~



POINT



現象が近づくほど・・・

- 対象地域や期間、雨量・風などの予測は正確になるが、
- 状況が切迫し、避難等の安全確保行動の選択肢は狭まる

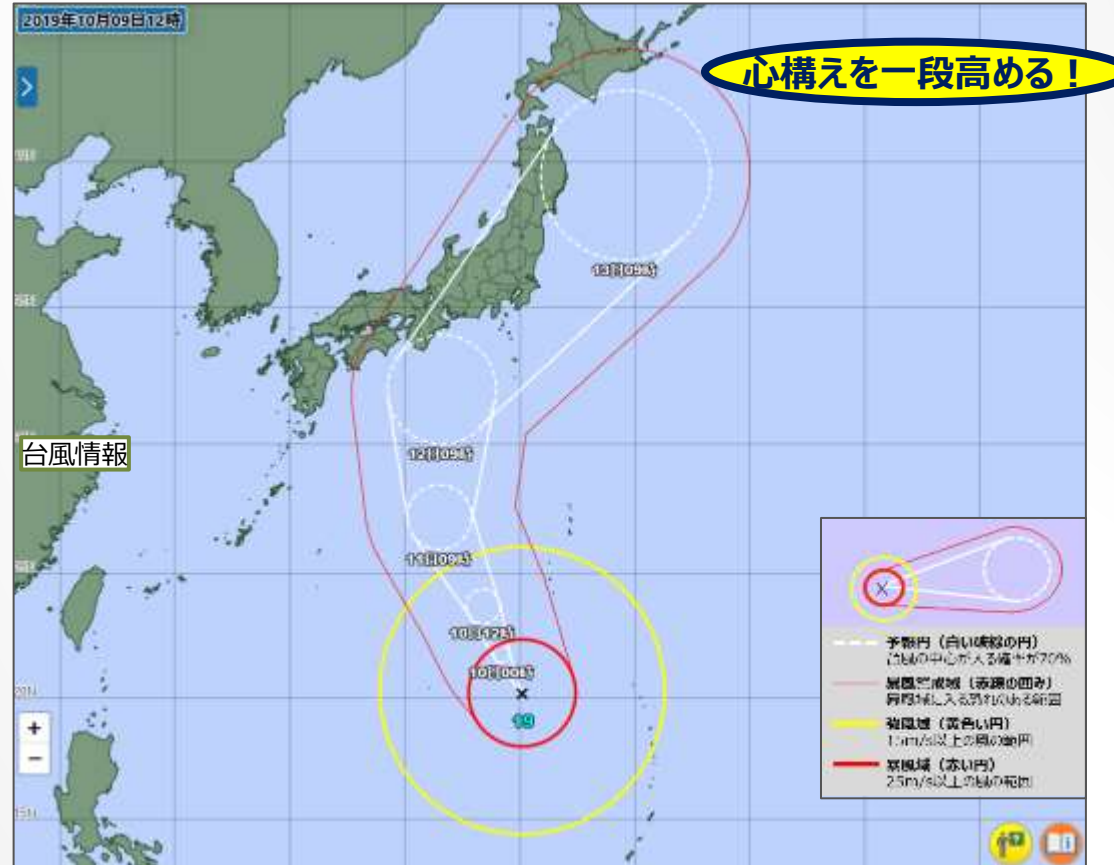
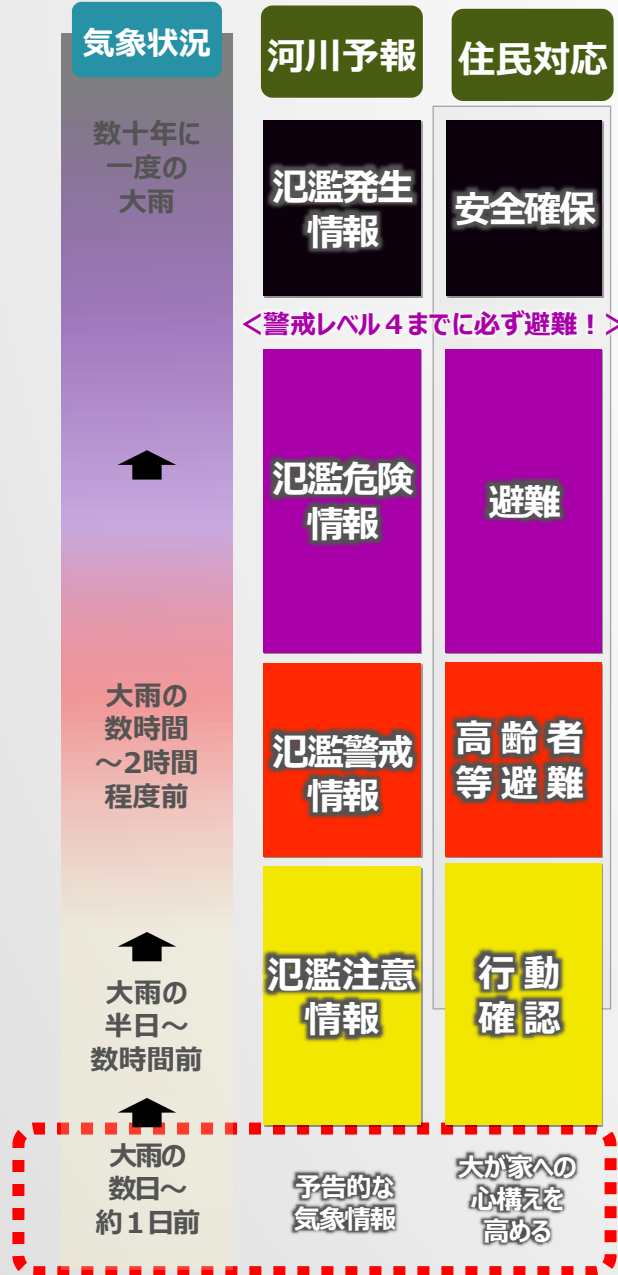
5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報			市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>						
大雨の数時間～2時間程度前	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
大雨の半日～数時間前	大雨警報※ 洪水警報 ※高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨の数日～約1日前	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 高潮注意報 大雨注意報 洪水注意報 早期注意情報 (警報級の可能性)	注意	氾濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置) ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。 災害への心構えを高める	2 1

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

「台風情報」や「気象情報」で災害対応スイッチオン



令和元年 台風第19号に関する情報 第22号

令和元年10月9日16時50分 気象庁予報部発表

（見出し）

大型で猛烈な台風第19号の影響により、小笠原諸島や大東島地方では、猛烈なしけや大しけとなるため、12日にかけてうねりを伴った高波に厳重に警戒してください。台風は非常に強い勢力を保ったまま、12日から13日にかけて、西日本から東日本に接近し、上陸するおそれがあります。全国的に暴風や警報級の大雨、大しけや猛烈なしけとなる可能性があります。

（本文）

指定河川洪水予報

気象状況

数十年に
一度の
大雨



大雨の
数時間
～2時間
程度前



大雨の
半日～
数時間前



大雨の
数日～
約1日前

河川予報

住民対応

氾濫発生
情報

緊急
安全確保

<警戒レベル4までに必ず避難！>

氾濫危険
情報

避難

氾濫警戒
情報

高齢者
等避難

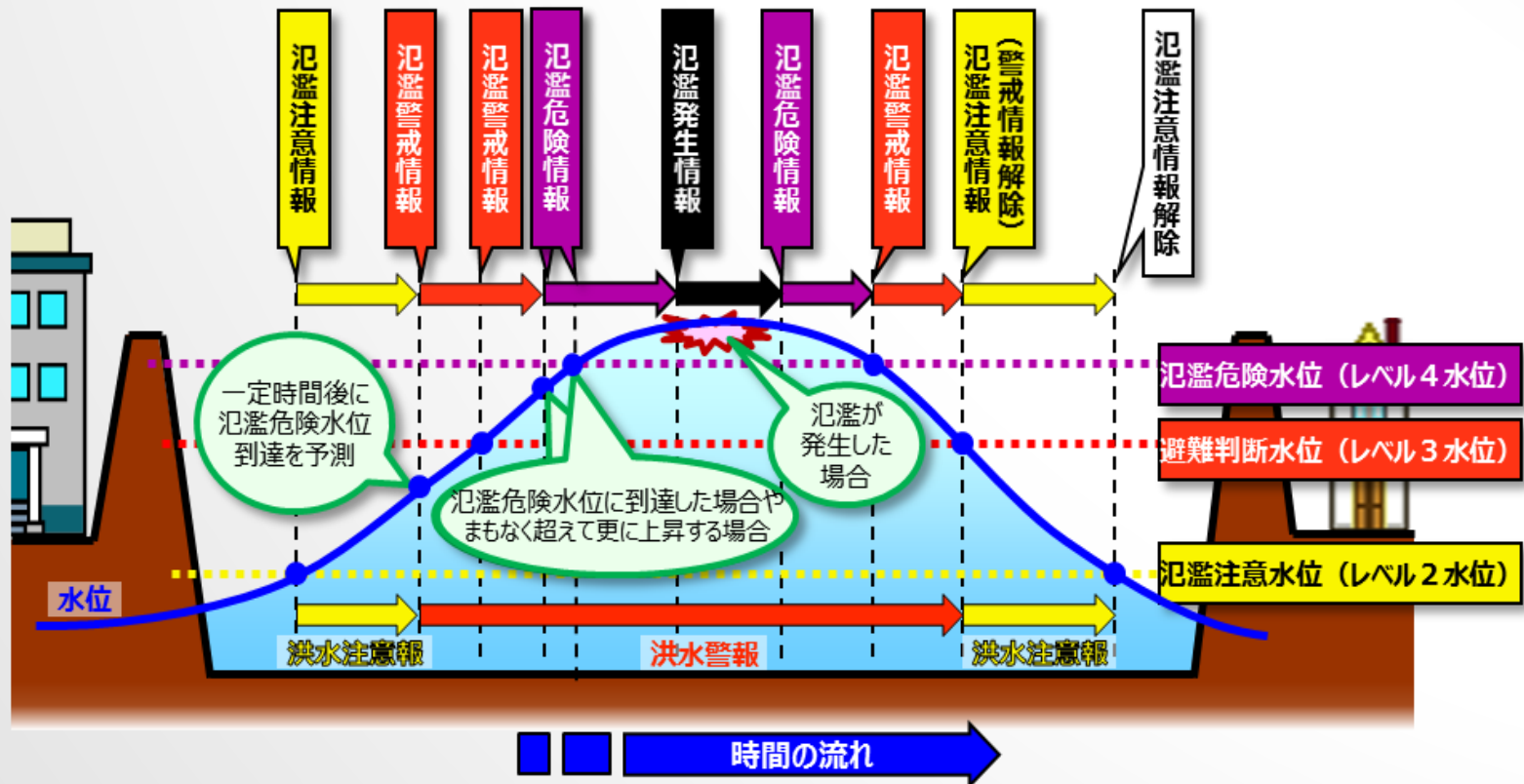
氾濫注意
情報

行動
確認

予告的な
気象情報

大が家への
心構えを
高める

洪水予報の標題（種類）	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報（洪水警報）	氾濫の発生（氾濫水の予報）	氾濫水への警戒を求める段階【警戒レベル5相当】
〇〇川氾濫危険情報（洪水警報）	急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位に到達した場合	いつ氾濫してもおかしくない状態避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階【警戒レベル4相当】
〇〇川氾濫警戒情報（洪水警報）	一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階【警戒レベル3相当】
〇〇川氾濫注意情報（洪水注意報）	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階【警戒レベル2相当】



あらかじめ、洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じるおそれがある河川を指定し、**その河川**に対して洪水警報等を発表（気象庁と国土交通省または都道府県の共同発表）



利根川
江戸川が対象

基準となる水位観測所

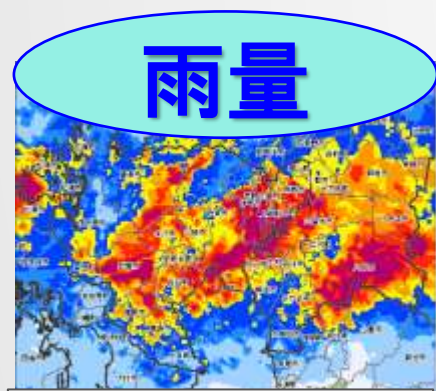
「川の防災情報」から水位や
カメラ画像を見ることができます。

(<https://www.river.go.jp/index>)



災害危険度を表す「キキクル」

雨量の予報から災害危険度の予報へ



今後の雨 (降水ナウキャスト・降水短時間予報)

大雨の降っている場所は
気象レーダーで把握可能

(しかし、災害の発生する場所・時間とは、
必ずしも一致しない。)



雨量の予報を
災害の予報に翻訳

災害危険度の高まりを
視覚的に確認できるよう
キキクル (危険度分布)
を提供

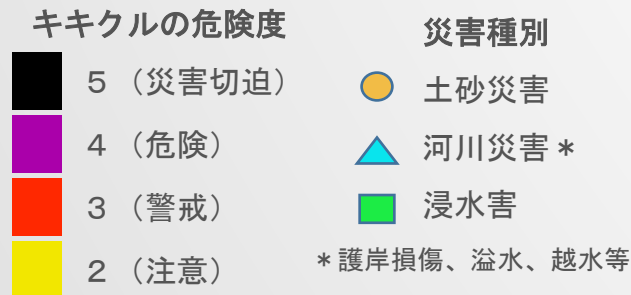
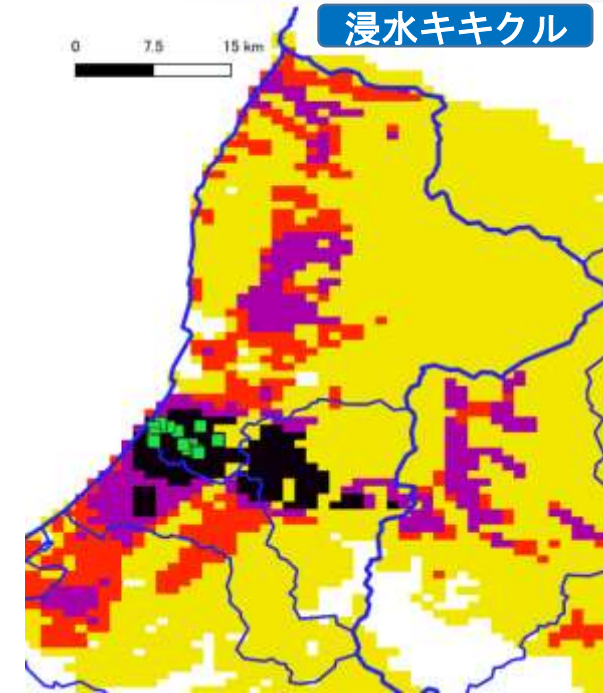
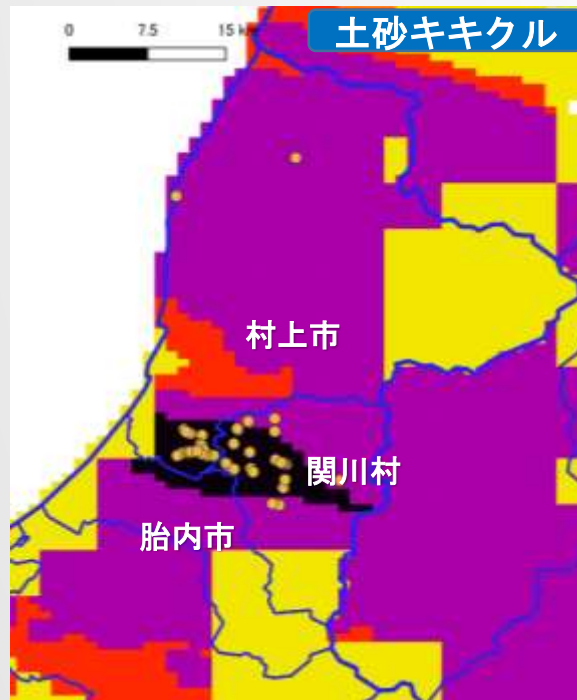
高
危険度
低



キキクルの最大危険度と災害との関係

令和4年8月の新潟の大雨の例

令和4年8月3日10時～4日9時までの各キキクルにおける最大の危険度と災害発生箇所※との重ね合わせ

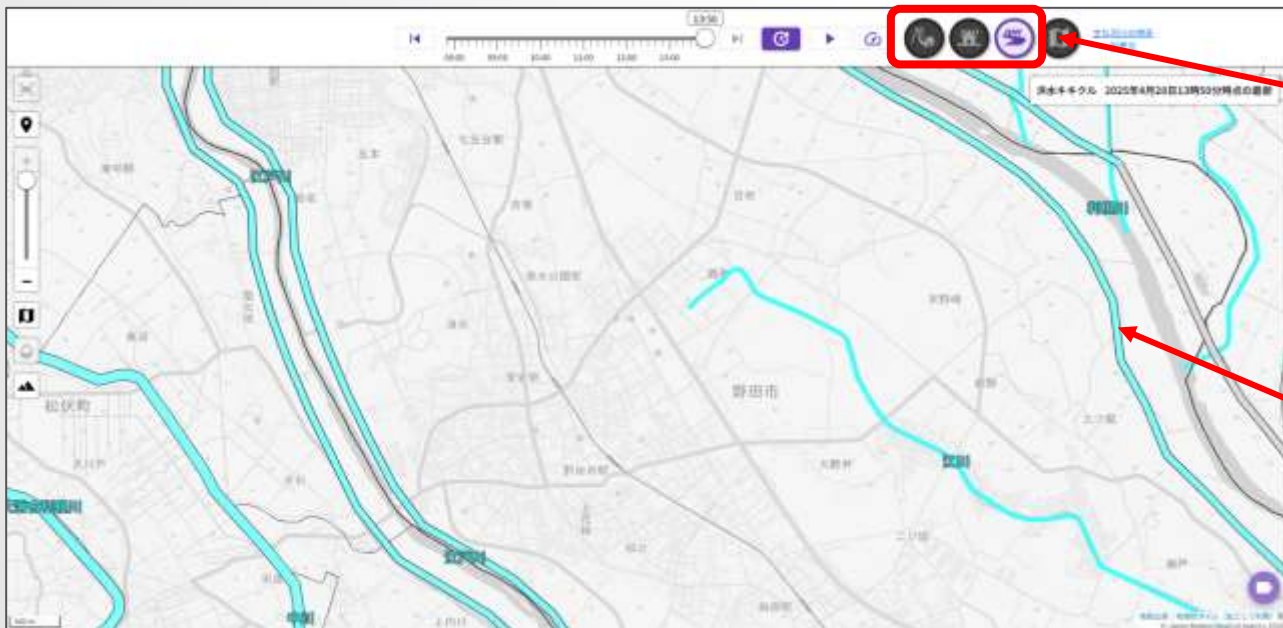


	該当キキクル 期間中の最大の災害危険度			メッシュ数 又は河川数
	3以下	4	5	
土砂災害	0%	29%	71%	28
河川災害	0%	39%	61%	85
浸水害	0%	0%	100%	12

※ 災害データは新潟県土木部及び国土地理院浸水推定図による

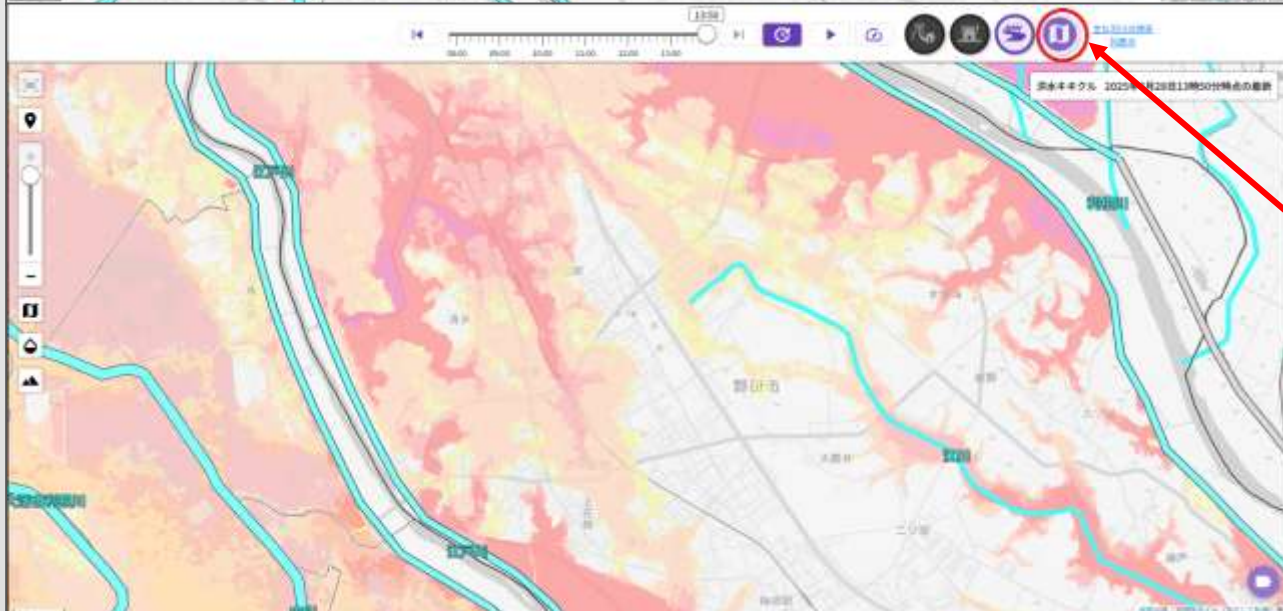
➤ 災害発生格子等では、土砂災害の71%、河川災害の61%、浸水害の100%で、当該キキクルの最大危険度が5「黒」となっていた

気象庁HPで表示するキキクル



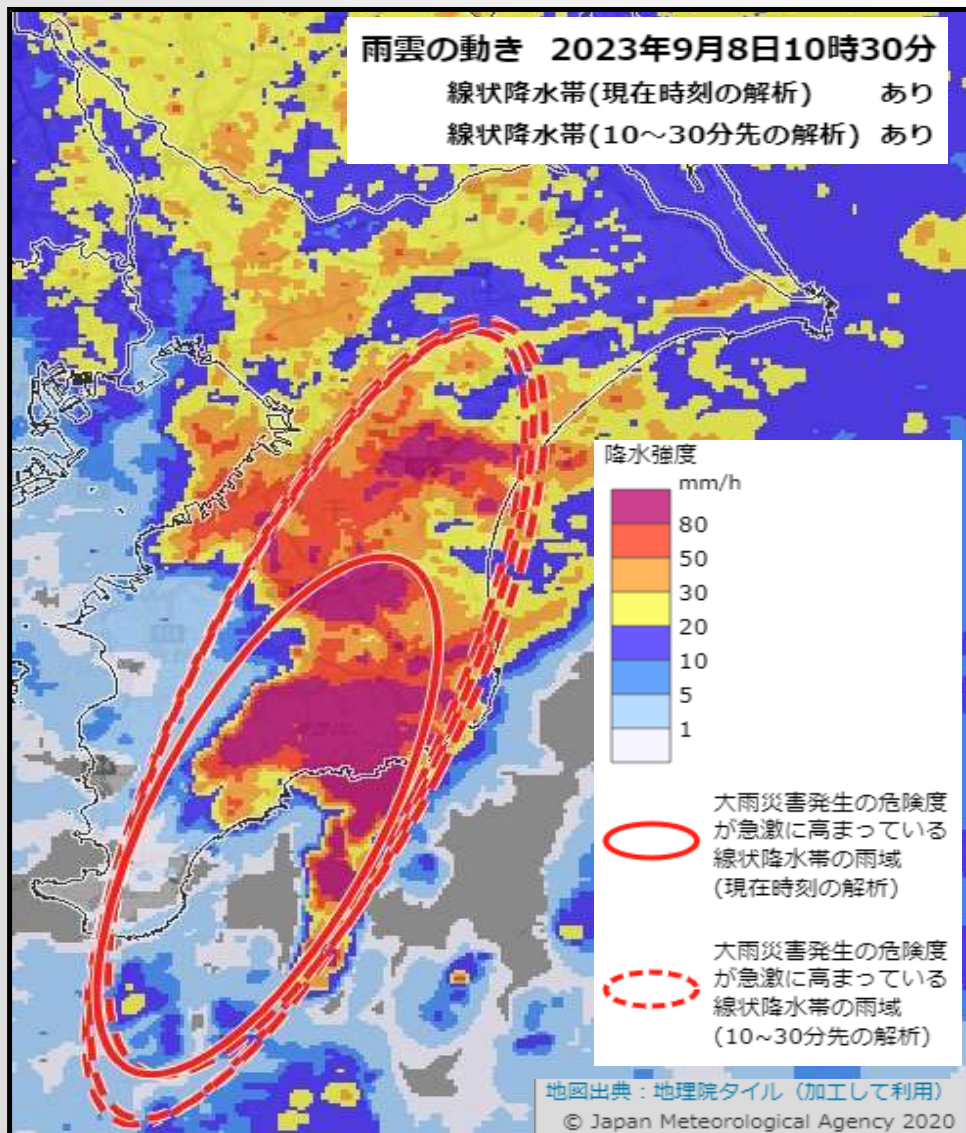
「土砂キキクル」「浸水キキクル」「洪水キキクル」の3種類を選択できます。

「洪水キキクル」では、広域表示の際には指定河川洪水予報を、狭域表示の際には水害リスクライン*を表示します。
*：河川の洪水の危険度を河川沿いに色分けして表示する情報



「土砂キキクル」では土砂災害警戒区域、「洪水キキクル」では、浸水想定区域を表示させることができます。

顕著な大雨に関する気象情報



別名「線状降水帯発生情報」

発表条件

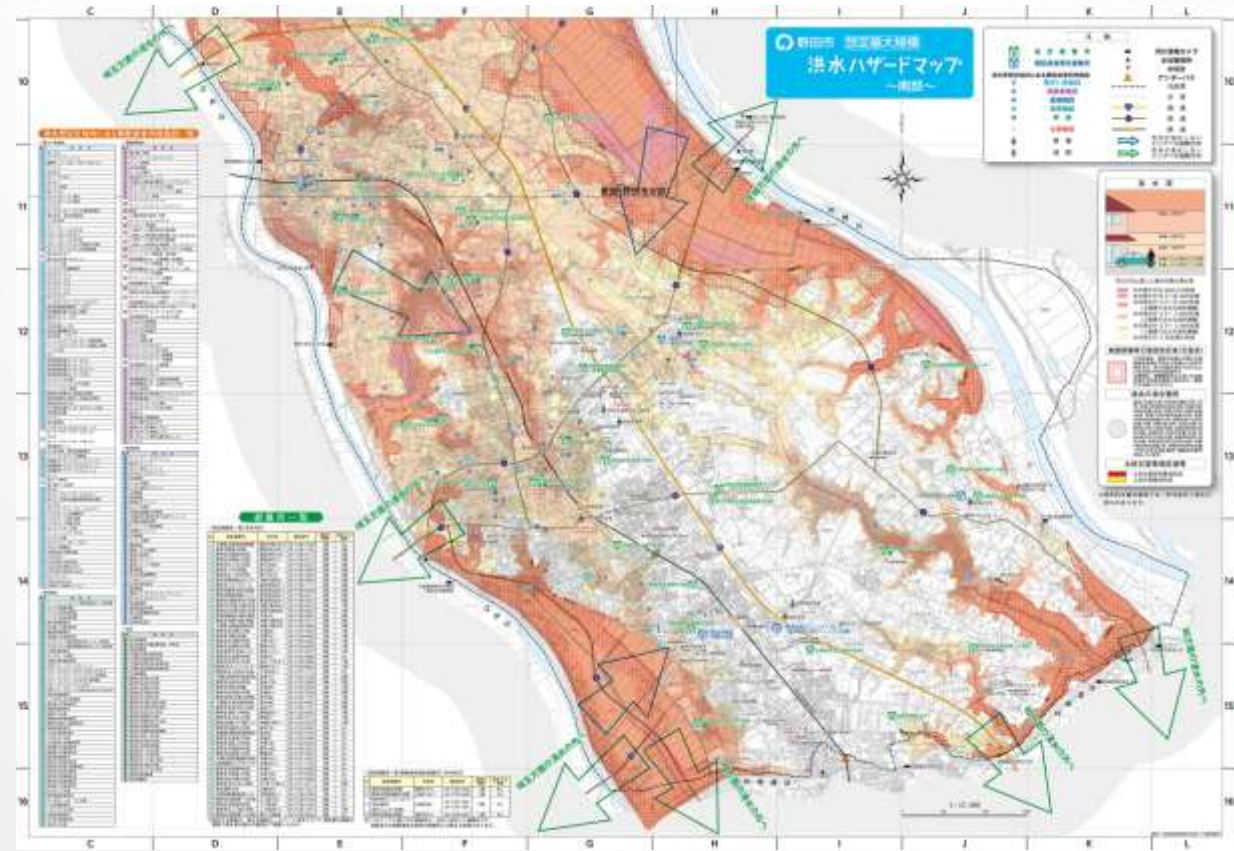
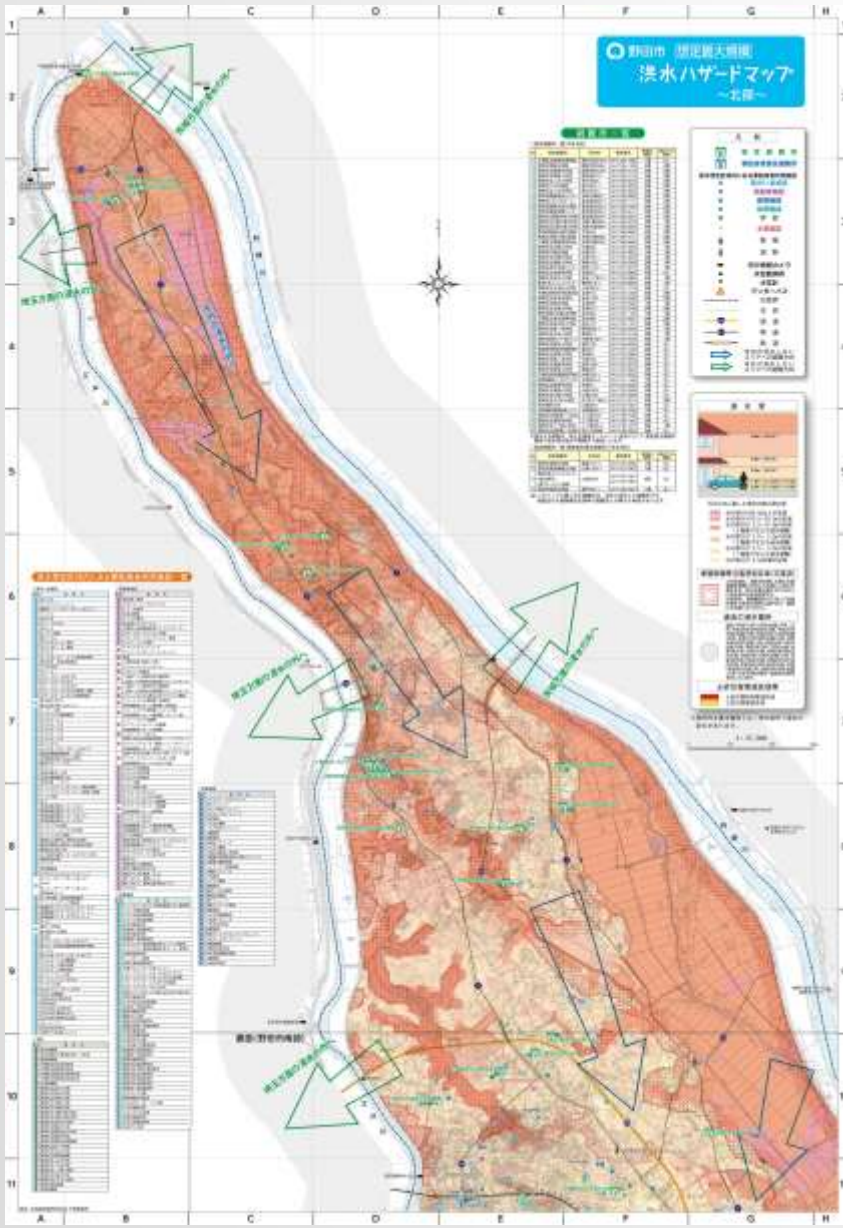
1. 前3時間積算降水量（5kmメッシュ）が100mm以上の分布域の面積が500km²以上
2. 1の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
3. 1の領域内の前3時間積算降水量最大値150mm以上
4. 1の領域内の土砂災害危険度において土砂災害警戒情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水災害危険度において警報基準を大きく超過した基準を超過

注）メカニズム的に「線状降水帯」ではなくても発表される
30分先以降、基準を満たした場合に発表される

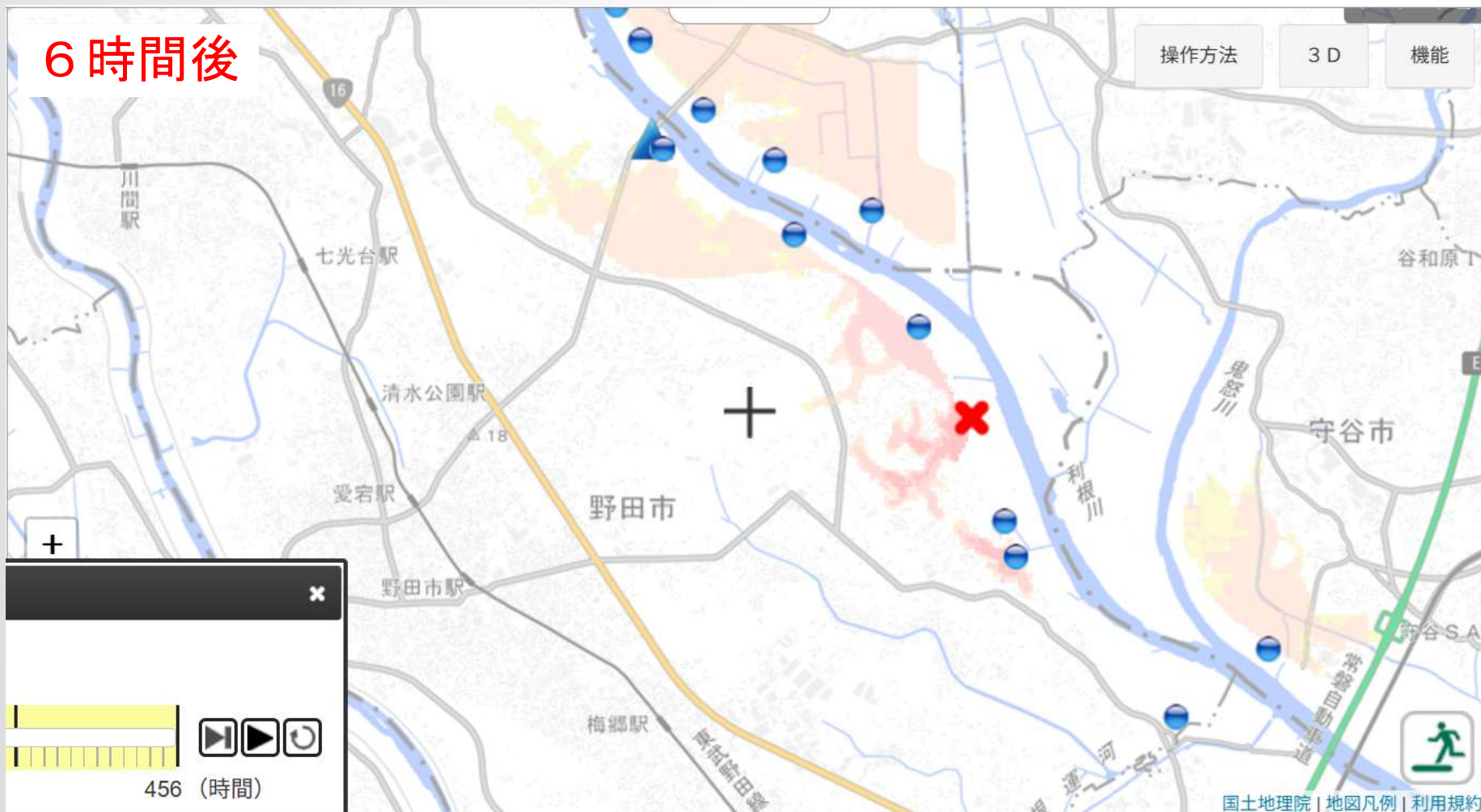
ハザードマップと避難

ハザードマップを確認しましょう

- ・ 野田市は広範囲が浸水する想定（1000年に1度規模）
- ・ 浸水深だけでなく「家屋倒壊等氾濫想定区域」にも注目



浸水ナビ



国土交通省「浸水ナビ」で
破堤個所による浸水区域の
場所と、破堤から浸水する
までの時間を知ることができる
<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

- ・破堤後浸水するまでには
時間がかかる
- ・破堤個所によって浸水する
区域に差がある

**流れのある水の
中を避難するの
は危険です**

避難とは【難】を【避】けること

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

(入っていると…)



流速が速いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります



地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、

水・食糧などの備えが十分

(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。



- 安全な場所にいる人が避難所に行く必要はない
- 避難場所と避難所は違います
 - 避難場所⇒緊急的な避難
 - 避難所⇒一定期間避難生活をする場所
- 野田市では「車中避難場所」を指定しています
 - 民間事業者の協力を得て開設

避難所以外への避難

安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難
することを相談して
おきましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。



安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要
です。事前に予約・
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。



屋内安全確保

ハザードマップで以下の
「3つの条件」を確認し
自宅にいても大丈夫かを
確認する必要があります。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある
区域では立退き避難が
原則です。

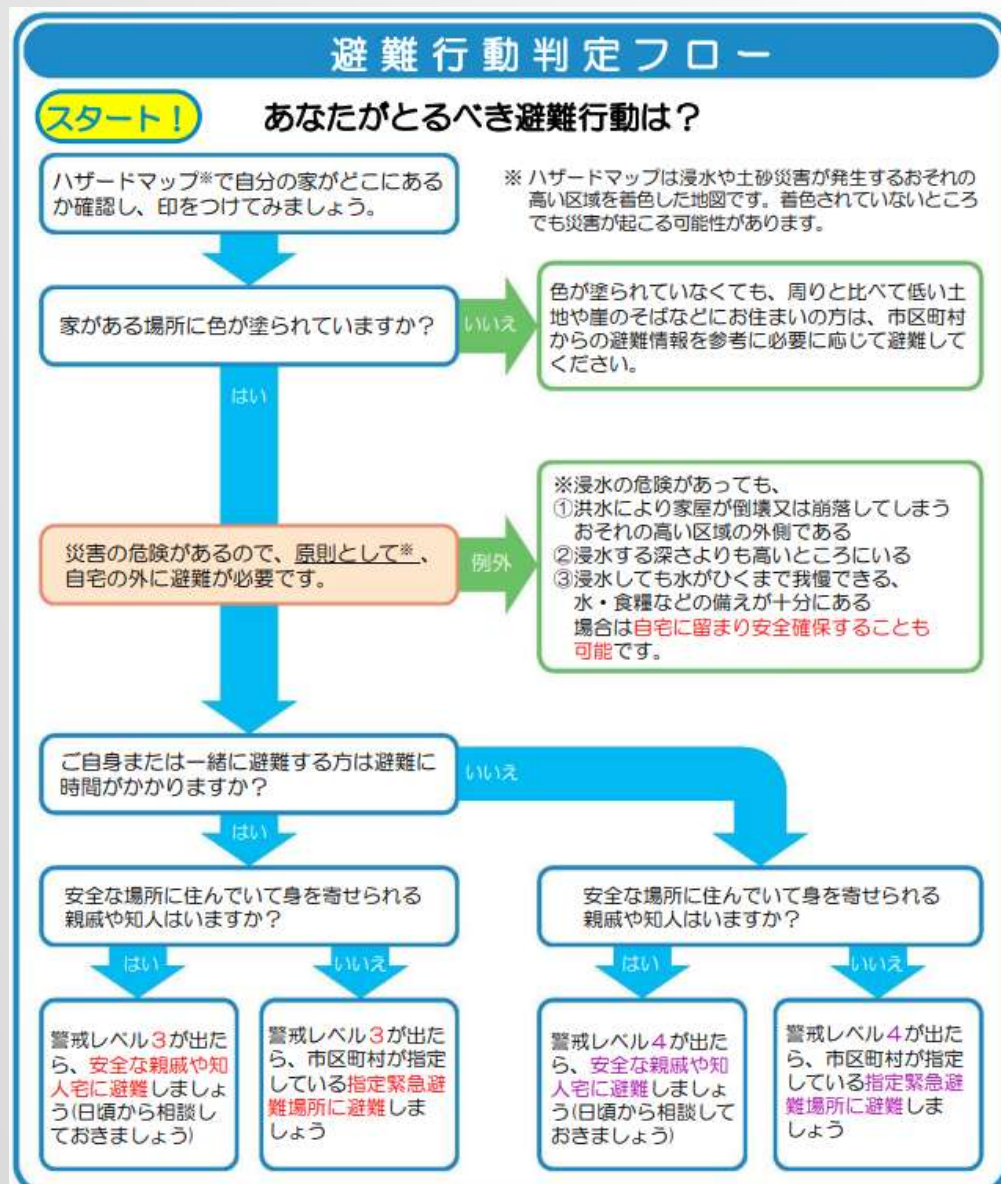


避難所以外への避難者の状況も
把握し、**避難所の避難者と同様に
必要な支援を受けられるように
する方針。**

国の「防災基本計画」では、「特に、**要配慮者に配慮して**、被災地域
外の地域にあるものを含め、ホテル・旅館等を実質的に福祉避難
所として開設するよう努める」とされて
いる。

「緊急安全確保」ではなく、**安全で
あることを確認**した自宅にとどまる
こと。

とるべき避難行動は？



- 想定される被害により避難場所を決定
- 在宅避難も可能
 - 浸水する深さよりも高いところにある
 - 浸水しても水が引くまで耐えられる（水・食料など）
 - 下記の区域に入っていないこと
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
 - 自分のいる場所よりも上流で破堤した場合、避難場所へ避難が必要
- 土砂災害警戒区域
 - 必ず避難場所へ避難

避難行動要支援者名簿と個別避難計画

- 避難行動要支援者も含めて、まずは一人一人が自分や家族の身は自分で守るという意識のもとに行う「自助」、その上で隣近所への声かけや安否確認、さらに自主防災組織などによる組織的な安否確認、避難誘導等の「共助」が確実行われる取り組みが重要
- 要支援者
 - 高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、外国人、難病患者
- 避難支援者
 - 自主防災組織、自治会・町内会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、警察、消防など
- 市の役割
 - 避難行動要支援者名簿の作成
 - 避難支援者への名簿の提供
- 自主防災組織等の役割
 - 避難支援者の確保
 - 要支援者の「個別避難計画」の作成
- 民生委員・児童委員、社会福祉協議会の役割
 - 「個別避難計画」の作成支援、



個別避難計画

- 氏名、生年月日等
- 災害時の配慮事項
- 緊急時の連絡先
- 支援にあたり必要な情報
- 避難支援者の氏名・連絡先
- 避難場所

熱中症と対策

熱中症とは

熱中症の症状



野田市の救急搬送者数
R6:93名
R5:87名
R4:96名

熱中症による救急搬送状況（年齢区分別）

- 7歳～18歳
- 18歳～64歳
- 65歳～

熱中症を引き起こす要因 ※1

環境

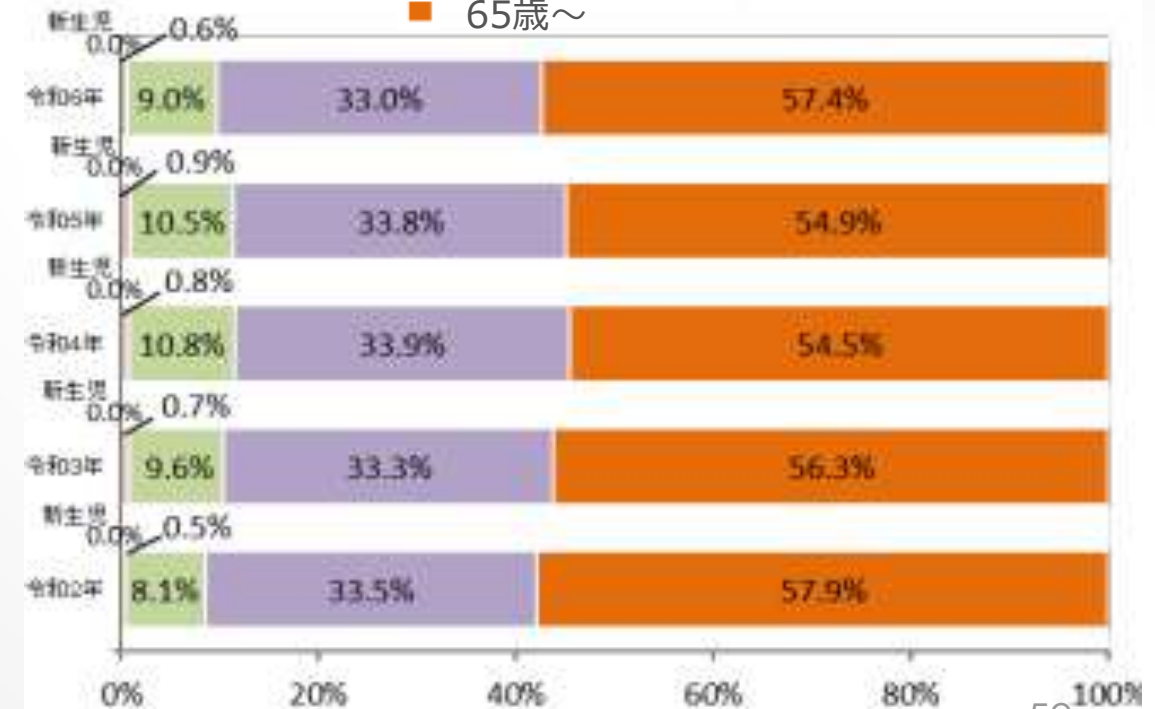
気温が高い
湿度が高い
日差しが強い
締め切った室内
エアコンがない
急に暑くなった
熱波の襲来

からだ

高齢者、乳幼児、
肥満
からだに障害
持病低栄養状
態
脱水状態
体調不良

行動

激しい運動
慣れない運動
長時間の屋外作
業
水分補給がしにく
い



※1 環境省『熱中症環境保健マニュアル2018』

暑さ指数

- ・ 暑さ指数（WBGT）：人体と外気との熱のやり取りに着目した指数
- ・ $WBGT = \text{湿球温度} \times 0.7 + \text{黒球温度} \times 0.2 + \text{乾球温度} \times 0.1$

気温	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予報運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子供の場合には中止すべき。
32℃以上 35℃未満	28以上 31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が 上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減もしくは中止。
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・ 塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間にせっきょっ く的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必 要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注 意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019) より



暑さ指数(WBGT)測定装置



実際の観測の様子

WBGTの観測と予測情報

- 野田市近隣のWBGT観測点（推定値）、予想地点
 - 我孫子市、越谷市、久喜市、下妻市
 - 野田市には直接の観測、推定はありません
 - https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php?region=03&prefecture=

2025年6月17日の例

久喜：31.7 下妻：31.1

越谷：32.6 我孫子：32.0

2024年8月24日の例

久喜：32.9 下妻：33.3

越谷：32.9 我孫子：34.7

（銚子：30.8）



熱中症警戒アラート

熱中症特別警戒アラート

	熱中症警戒情報	熱中症特別警戒情報
一般名称	熱中症警戒アラート	熱中症特別警戒アラート
位置づけ	気温が著しく高くなることにより熱中症による<u>人の健康に係る被害が生ずるおそれがある</u>場合 (熱中症の危険性に対する気づきを促す) <これまでの発表回数> R3: 613回, R4: 889回, R5:1232回,R6:1722回	気温が<u>特に</u>著しく高くなることにより熱中症による<u>人の健康に係る重大な被害が生ずるおそれがある</u>場合 (全ての人、自助による個人の予防行動の実践に加えて、共助や公助による予防行動の支援) <u><過去に例のない広域的な危険な暑さを想定></u> R6から運用開始。発表は一度もなし。
発表基準	<u>府県予報区等内のいずれか</u>の暑さ指数情報提供地点における、日最高暑さ指数(WBGT)が33(予測値、小数点以下四捨五入)に達すると予測される場合	<u>都道府県内</u>において、<u>全ての</u>暑さ指数情報提供地点における翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値、小数点以下四捨五入)に達すると予測される場合 (<u>上記以外の自然的社会的状況に関する発表基準について、令和6年度以降も引き続き検討</u>)
発表時間	前日 午後5時 頃 及び 当日 午前5時 頃	前日 午後2時 頃 (前日午前10時頃の予測値で判断)
表示色	紫	黒

千葉県は銚子、勝浦などの沿岸の地点が指数情報提供地点となっているため、熱中症特別警戒情報が発表されることはまずないと思われますが、野田市はWBGTが35に達する可能性があります。

対策と応急処置

適切な服装をする

風通しの良い涼しい服装を心がけましょう。汗が空気に触れ蒸発することで効率よく熱を外に逃し、体温を下げるができます。

こまめに水分補給をする

喉の渇きを感じる前に、意識的に摂取しましょう。特にマスクによって、喉の渇きを感じにくいのでこまめな補給を心がけましょう。

無理をしない

普段感じないようなしんどさや症状があれば、何よりも無理をしないことが大切です。

涼しい場所で休む

熱中症の症状が疑われる場合は、冷房が効いた屋内や木陰などの涼しい場所へ移動して、衣服をゆるめて安静にしましょう。

手のひら冷却

症状が出る前に効率よく体を冷やす方法として注目されているのが「手のひら冷却」です。洗面器に10～15℃の冷たい水を張り、5～10分間両手をつけるというものです。

熱中症が疑われるときの応急処置

チェック1 熱中症を疑う症状がありますか？

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温



はい

チェック2 意識がありますか？

いいえ

救急車を呼ぶ

救急車が到着するまでの間に
応急処置を始めましょう。
呼びかけへの反応が悪い場合には
無理に水を飲ませてはいけません。

はい

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

氷枕や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やしましょう。
皮ふに水をかけて、うちわや扇子などであおぐことでも体を冷やすことができます。



チェック3 水分を自力で摂取できますか？

いいえ

はい

水分・塩分を補給する

大量に汗をかいている場合は、塩分・糖分を
一緒に補給できるスポーツドリンクや経口補水液、
食塩水(1ℓの水に対して1～2gの食塩を加える)がよいでしょう。



チェック4 症状がよくなりましたか？

いいえ

はい

そのまま安静にして十分に休息をとり、
回復したら帰宅しましょう

体を冷やすポイント



医療機関へ

本人が倒れたときの状況を
知っている人が付き添って、
発症時の状態を伝えましょう。



最後に

居安思危（こあんしき）

居安思危	安きにありて危うきを思う
思則有備	思えばすなわち備えあり
有備無患	備えあれば憂いなし

「春秋左氏伝」より



おしまい